

令和5年度
教育に関する事務の管理、執行の状況
の点検及び評価報告書

令和6年8月
一戸町教育委員会

はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、一戸町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について教育委員会自ら点検及び評価を行った結果を取りまとめたものです。

この報告書を議会に提出するとともに、公表することにより町民への説明責任を果たし、町民に信頼される教育行政を推進してまいりたいと考えております。

また、点検及び評価の方法については今後においても随時不備な点は改善し、結果についてはこれからの施策等に反映していくこととし、継続的に事業の改善を図ってまいりたいと考えております。

○根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うには当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○対象

教育振興基本計画の施策に基づき、その状況を点検及び評価の対象とした。

○方法

事業担当課が実施状況等をまとめ、次の 4 段階による内部評価を実施した。

- A・・・計画以上の成果をあげた
- B・・・達成できた
- C・・・おおむね達成できた
- D・・・達成できなかった

目 次

1. 令和5年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	1
(2) 教育委員会議の開催状況	1
(3) 教育委員会議議決案件	1
(4) 教育委員会議以外の活動状況	2
2. 教育委員会事業の点検・評価	
(1) 学校教育課関連事業	3
(2) 生涯学習課関連事業	
①社会教育事業実施状況	22
②スポーツ振興事業実施状況	29
③地区センター事業実施状況	34
④文化芸術・コミュニティセンター関係事業実施状況	49
⑤一戸町立図書館事業実施状況	54
⑥世界遺産事業実施状況	65
⑦文化財関係事業実施状況	68
3. 令和5年度教育に関する事務の管理及び	
執行の状況の点検・評価に関する有識者からの意見	71

1. 令和5年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（令和5年4月1日現在）

役職名	氏名	就任年月日	現任期
教育長職務代理者	春日川 寛治	平成24年12月25日	令和2年12月25日 ～令和6年12月24日
委員	徳永 映子	平成29年12月25日	令和3年12月25日 ～令和7年12月24日
委員	武田 靖子	平成30年4月1日	令和4年4月1日 ～令和8年3月31日
委員	梅垣 俊輔	平成31年4月1日	令和5年4月1日 ～令和9年3月31日
教育長	中嶋 敦	平成30年4月1日	令和3年4月1日 ～令和6年3月31日

(2) 教育委員会議の開催状況

月日	議案	報告	月日	議案	報告
4月20日	2	0	11月22日	0	0
5月23日	1	0	12月21日	0	0
6月22日	3	0	1月18日	0	0
7月25日	1	0	2月22日	1	0
8月24日	1	0	3月18日	2	0
9月22日	0	0			
10月25日	0	0	計	11件	0件

(3) 教育委員会議議決案件

日付	件名
R5.4.20	一戸町スポーツ推進委員の委嘱に同意を求めることについて
	一戸町文化財調査専門委員の委嘱に同意を求めることについて
R5.5.23	一戸町そよかぜ学級開催事業援助要綱の一部改正について
R5.6.22	一戸町スポーツ推進委員の委嘱に同意を求めることについて
	一戸町就学援助費支給要綱の一部改正について

日付	件名
R5.6.22	第10次一戸町教育振興基本計画について
R5.7.25	一戸町立小中学校において令和6年度使用する教科書の採択に関し議決を求めることについて
R5.8.24	令和4年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書について
R6.2.22	一戸町立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
R6.3.18	令和5年度末職員の定期人事異動の内申に関し承認を求めることについて
	御所野縄文公園管理規則の一部を改正する規則の制定について

(4) 教育委員会議以外の活動状況

・学校訪問等

- 4月 入学式 小学校、中学校、高等学校（一戸高校）
6月 学校視察 小学校、中学校
3月 卒業式 小学校、中学校、高等学校（一戸高校）

・総会・研修会

- 7月 東北町村教育長連絡協議会定期総会（秋田県）
東北六州市町村教育委員会連合会定期総会（秋田県）
10月 教育委員部会研修会（久慈市）
1月 岩手県市町村教育委員会協議会教育長・教育委員研修会（盛岡市）

・一戸町総合教育会議の開催状況及び会議案件

日付	件名
R5.7.25	・第10次一戸町教育振興基本計画について
R6.1.25	・令和5年度教育長施政方針の取組状況について

2. 教育委員会事業の点検・評価

第2章 学校教育の充実

第1節 幼児教育・義務教育の充実

- A：計画以上の成果をあげた
 B：達成できた
 C：おおむね達成できた
 D：達成できなかった

幼児教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
「幼保小連携」 研修事業	<p>町内の認定こども園、保育所、小学校等の教職員による保育体験、授業参観や交流・懇談を通して、幼児教育から初等教育への接続期における望ましい指導のあり方等について研修を深めるとともに、相互の連携を図り一貫性を強化することにより、就学前教育及び小学校教育の振興充実に資する。</p> <p>◆「幼保小連携」研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：①令和6年3月26日（火） 一戸小-いちのへじょうもんの里こども園 鳥海小 ②令和6年3月27日（水） 奥中山小-奥中山みどりの森こども園 <ul style="list-style-type: none"> ・対象：連携する保育施設及び小学校の教職員等 ・会場：①いちのへじょうもんの里こども園 ②奥中山みどりの森子ども園 ・内容：①小学校教員による保育体験 ②小学校教員による保育体験 	<p>【研修会参加人数】</p> <p>① 6名</p> <p>② 12名</p>	B
成果と課題（○：成果、●課題）			
<p>○ 当町幼児教育アドバイザーより保育の視点について、始めに教えていただき、心構えができた。</p> <p>○ わずかな時間でも、園児一人一人の特徴を知ることができた。</p> <p>○ 園での保育の様子を知り、保育者の関わりの工夫を知ることができた。</p> <p>○ 実際に小学校教員が、自分なりに考え園児と接する様子が見られた。</p> <p>○ 園の様子を知ること、小学校でも取り入れること、生かすことができることを考えるようになった。</p> <p>○ 連携する各園と小学校で連携の在り方を模索し、自主的に研修を行うことにつながっている。</p> <p>● 他校、他園への取組の啓発に課題が残る。</p>			

自ら学ぶ意欲の育成と基礎学力の向上

事業名	実施状況	実績	評価
<p>学力向上の推進</p>	<p>◆学力向上推進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の小中学校の教員の中から学力向上推進委員を委嘱し、基礎学力定着のため調査研究し、一戸町の教育水準の向上と充実に資する。 ・委員（8名）による学力検査の分析を行い、分析資料のまとめと今後の活用の在り方としての具体例等について検討した。 <p>◆読書推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全児童を対象に学年ごとの年間目標読書冊数（低80冊、中60冊、高40冊）を設定し、達成できた児童には賞状等を与えることにより、読書意欲の向上を図っている。 ・学校司書・図書館業務担当者研修会（年2回） <p>◆図書贈呈事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが読書などに主体的、意欲的に取り組める環境づくりを進めることを目的に、町立小・中学校の入学者を対象に図書贈呈事業を実施した。 <p>◆学校図書館の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書情報の共有化や図書資料の有効活用について、町立図書館と連携を図っている。 <p>◆英語検定、日本語検定、数学検定、漢字検定の検定料の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の小学生・中学生を対象に、英語検定、日本語（漢字）検定、数学検定、漢字検定の検定料を年1回に限り補助することで、生徒の英語や漢字、数学の力を高めることに資する。 <p>令和5年度から補助の対象を小学生まで拡大し、対象の検定に漢字検定を加え、受検者数の拡大による児童生徒の学習意欲の向上を図った。</p>	<p>2回開催</p> <p>目標達成児童数割合 95%</p> <p>【贈呈者数】 小学校1年生 : 51名 中学校1年生 : 74名</p> <p>一戸小学校 一戸南小学校、 鳥海小学校、 小鳥谷小学校、 奥中山小学校の 5校に学校司書を配置</p> <p>【延べ受検者数】 119名</p>	<p>B</p>

自ら学ぶ意欲の育成と基礎学力の向上

事業名	実施状況	実績	評価
学力向上の推進	<p>◆土曜学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営塾が運営主体となり中学3年生の希望者を募り開催し、高校受験に向けた個別の課題の克服を目的として一人ひとりに応じた学習を進める。 	<p>【受講者数】</p> <p>34名</p>	B
諸検査・調査の実施	<p>◆知能検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校2、4学年・中学校1学年 <p>◆学力検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校全学年・中学校1、2学年 ・検査教科：小学校 国語・算数 中学校1年 国語・数学 中学校2年 国語・数学・社会・理科・英語 <p>◆学習定着度状況調査（実施主体は岩手県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校5学年・中学校2学年 ・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査 <p>◆全国学力・学習状況調査（実施主体は国）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校6学年・中学校3学年 ・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査 	<p>全検査及び調査を予定どおり実施した。 (令和2年度は一部の調査が質問紙調査のみ実施)</p>	B
学校支援員等の配置	<p>学習面で遅れが見られる児童生徒に対し、きめ細やかな指導を行い、学習内容の理解と定着を図った。</p>	<p>【配置校】</p> <p>一戸小3名・一戸南小2名・鳥海小2名・小鳥谷小2名・奥中山小3名・一戸中2名・奥中山中名</p> <p>計16名</p>	B
学力向上支援員の配置	<p>児童生徒の基礎学力向上のため、学力向上支援員を配置して指導の強化を図った。</p>	<p>【配置校】</p> <p>一戸中2名 奥中山中2名</p> <p>計4名</p>	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 学力向上の推進については、学力向上推進委員会において各校の課題と参考になる事項等を交流することにより町全体の学力向上の意識をもたせることができた。また、授業と家庭学習の連動や学力調査結果を活用し授業改善を行う等、学校の組織的な取組が進められている。
- 読書推進活動においては目標達成児童数の割合が高く、読書意欲は依然として高い。
- タブレットを活用し、多様な学習活動を展開している。
- 令和5年度からは検定料の補助を小学生まで拡大し、漢字検定を対象に追加したが、新しいやり方が浸透しておらず受検者数が伸び悩んだので、学校との情報共有や連携を密にして児童生徒への積極的な受検を促していく。

社会の変化に対応した教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
中高生の国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度より軽米町との合同により海外派遣事業を行ってきた。 ・平成21年度は新型インフルエンザの世界的な流行等をふまえ実施を見送ったが、平成22年度から再開し、平成25年度からは新たに一戸高校から団員を派遣している。 ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止し、令和3年度、4年度は研修地を国内として実施した。 ・令和5年度は新型コロナウイルスの5類以降を契機として国内・海外への旅行が民間でも再開されつつあったことから、海外への派遣を再開した。一方で、戦争や円安による経費の高騰から、参加者と日数をコロナ前から縮小して実施した。 研修期間：令和6年1月4日から10日まで 研修場所：アメリカ合衆国 オレゴン州 ポートランド 	<p>【参加生徒数】</p> <p>一戸中 4名 奥中山中 2名 一戸高 2名 (軽米中 3名、軽米高 2名)</p>	B
一戸町中学生英語キャンプ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中学1年生を対象とし、外国語指導助手（ALT）との活動や同世代との交流、異文化の見聞、英語を使ったコミュニケーションなどの成功体験による事後の学習意欲の向上が望める事業として実施している。 実施期間：令和5年8月2日から8月3日まで 実施場所：奥中山高原センターハウス 	<p>【参加者数】</p> <p>一戸中 4名 奥中山中 2名 ALT 2名</p>	B

社会の変化に対応した教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
いちのへ未来会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・町内中学生が感じる一戸町の未来に関わるテーマについて、町の代表者である町長と意見を交わすことにより、一戸町の将来やまちづくりへの関心を高め、ふるさと「いちのへ」を見直すことで、他に誇れる地域の魅力を自ら見つけ出し、未来につながる具体的な行動を主体的に考え実践できる人材を育成することを目的にいちのへ未来会議を実施した。 <p>いちのへ未来会議：令和5年7月4日（火）</p>	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一戸中：10名 ・奥中山中：5名 	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中高生国際交流派遣事業は、コロナ禍以降研修地を国内としていたところ、海外派遣を再開したが、物価高・燃料高の影響からコロナ禍前から規模を縮小せざるを得なかったが、参加生徒たちは充実した研修を行うことができた。 ○ いちのへ未来会議への取組を通じて、未来につながる具体的な行動を主体的に考え実践できる人材の育成に寄与することができた。また、いちのへ未来会議を実施したことで町の施策に対する生徒の意見を聞く機会とすることができた。 ● 海外派遣は航空運賃はじめ各種経費の高騰が続いていることから、派遣規模の見直しは継続して必要である。 ● 中学生英語キャンプ事業については、各学校から一定数の参加が見込まれるよう、実施期間の設定と積極的な参加勧奨が必要である。 			

健康教育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
学校保健研究大会	<p>毎年度、健康教育の推進に資するため、一戸町学校保健会との共催により研究大会を開催しており、令和5年度は、第40回の記念大会を、参集型で実施することができた。</p>	<p>4年ぶりとなる参集型の研究大会を実施することができた。</p>	B
表彰関係	<p>令和5年度岩手県学校歯科保健優良校表彰 優良校：一戸南小学校、一戸小学校、一戸中学校</p>	<p>学校歯科保健優良校表彰において、町内3校が表彰された。</p>	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究大会を実施し、学校や家庭との連携や保健活動の充実を図ることができた。4年ぶりとなる参集型での実施だったが、多くの関係者に参加してもらうことができた。 ● 近年、肥満傾向児の出現率が高値となっている状況であるため、行政と学校・家庭との連携を強化し、個別面談等の対応も検討する必要がある。 			

心の健康問題対策の充実

事業名	実施状況	実績	評価
生と性を考える学習会	二次性徴による著しい体の変化、それに伴っておこる不安や悩みを軽減するため、町内各中学校の2学年を対象に実施した。	町内中学校2校で実施した。	B
スクールカウンセラー活用事業	学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する方をスクールカウンセラーとして配置した。	【配置校】 一戸中学校 奥中山中学校 奥中山小学校 (奥中山地区は1人で兼務)	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ 性教育だけでなく、自分や他者を大切にする人間関係を築くことができた。</p> <p>○ スクールカウンセラーは町内に2名配置され、全小中学校をカバーしている。</p>			

第2節 学校、家庭、地域の連携による「地域とともにある学校」づくりの推進

地域の特色を生かした開かれた学校づくり

事業名	実施状況	実績	評価
学校運営協議会	奥中山地区・鳥海小学校・小鳥谷小学校に続き、残りの3校(一戸小・一戸南小・一戸中)も今年度設置した。	全ての町内小・中学校で設置済み。	B
学校へ行こう	開かれた学校づくりを目指し、学校公開を実施することにより、学校の特色を多くの町民に知ってもらう。	4月、11月の2回実施とし、それぞれの学校で授業参観等を行った。	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ 町内の全学校で運営協議会を設置できた。</p> <p>○ 「学校へ行こう」を2回実施することができた。</p>			

第3節 特別支援教育の充実

適切な就学指導の推進と特別支援教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
教育支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催（委員 19 名） ・専門部会の開催（2回 委員 11 名） 各学校、認定こども園、保育所等からの個別検査の依頼を受け、個別検査の分担と業務の推進を確認した。個別検査結果を分析し、総合審査会議への提出資料を作成した。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合審査会議では、心身障がい児の総合審査と、教育措置について審議した。 	【総合審査人数】 児童等：66 名 就学児：7 名 小1～中3：59 名	B
学級補助員の配置	知的障がい、軽度発達障がい等児童生徒への対応として配置している。	【配置校】 一戸小 3 名・一戸南小 2 名・鳥海小 2 名・小鳥谷小 2 名・奥中山小 3 名・一戸中 4 名・奥中山中 2 名 計 18 名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 就学支援については、健康子ども課や認定こども園、保育所等との連携を図りながら、支援を必要とする幼児等の適切な就学に向けた支援ができた。また、学級補助員等の配置により、特別支援学級等に在籍する児童の安全確保ときめ細かな指導を行うことができた。			

第4節 小中学校の教育環境の整備充実

学校教育機関の施設・設備の計画的な整備充実

事業名	実施状況	実績	評価
各種修繕工事	小中学校校舎等維持管理のための各種修繕を行う。	各小中学校の要望箇所について確認を行い、計画的に修繕を行った。	B
一戸小学校 小荷物専用昇降機更新工事	定期点検の結果により、更新工事が必要となったものの。	【工事費】 2,698,300 円	B

学校教育機関の施設・設備の計画的な整備充実

事業名	実施状況	実績	評価
小鳥谷小学校 浄化槽配管修繕工事	定期点検の結果により、修繕工事を行ったもの。	【工事費】 2,818,564 円	B
小鳥谷小学校 駐車場砕石敷工事	駐車場等の整備を行ったもの。	【工事費】 1,265,000 円	B
奥中山小学校 小荷物専用昇降機更新工事	定期点検の結果により、更新工事が必要となったもの。	【工事費】 2,377,100 円	B
奥中山小学校 屋外街灯塗装工事	経年劣化により、塗装工事を行ったもの。	【工事費】 418,914 円	B
一戸中学校 体育館照明 LED 化工事	体育館照明設備について、LED 化の整備を行ったもの。	【工事費】 24,753,000 円	B
一戸中学校 暖房用温水ヒーター更新工事	更新を要する暖房用温水ヒーター（1 台）について更新工事を行ったもの。	【工事費】 7,700,000 円	B
一戸中学校 小荷物専用昇降機更新工事	故障し、使用不可となっていたため更新工事を行ったもの。	【工事費】 3,485,900 円	B
一戸中学校 非常時放送設備工事	定期点検の結果により、設備交換工事が必要となったもの。	【工事費】 2,689,000 円	B
理科教育設備整備費等補助金 (国庫補助事業)	小学校 2 校、中学校 1 校を対象に、理科、算数・数学設備について次のとおり備品を整備した。 ・三球儀、人体解剖模型、双眼鏡 ・流水実験器、デジタル気体測定器 ・電源装置、顕微鏡	【整備額】 ・小学校 670,900 円（補助 317 千円） ・中学校 340,670 円（補助 160 千円）	B
教材備品整備	全学校を対象に教材備品を整備した。	【整備額】 ・小学校 972,282 円 ・中学校 2,241,570 円	B

成果と課題（○：成果、●：課題）
○ 大規模改修を含めた各種修繕等を計画的に行い、安全な学習環境の整備が図られた。 ○ 理科、算数・数学設備備品を購入することにより、学習に必要な教材、設備を整備した。 ● 理科、算数・数学設備備品の購入について、補助周期等の変更を検討する。

校外学習の輸送手段の整備

事業名	実施状況	実績	評価
スクールバス運行管理	引き続き8台のスクールバスを町内のタクシー会社へ運行委託し、児童生徒の登下校及び校外活動等へ事故無く運行できた。	スクールバス8台	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 各学校の児童生徒数に合わせてスクールバスを運行できた。			

安全指導体制の確立と安全管理の徹底

事業名	実施状況	実績	評価
災害共済給付事業	学校の管理下における児童生徒の傷害等に対する掛金を負担し、災害時における医療費等の自己負担分を給付した。	・給付件数：119件 ・給付額 361,676円	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 全児童生徒加入により、学校管理下での傷害等に対し、金銭的給付を行い、保護者の負担軽減を図った。			

安全・防災に関わる連携強化と実践活動の充実

事業名	実施状況	実績	評価
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	<p>地域との連携を重視し、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心できる学校が確立されるよう取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーによる学校の巡回指導 ・一戸町交通指導隊長をスクールガードリーダーに委嘱し、町内小学校の登下校時に巡回指導を実施。 ・学校安全ボランティア（スクールガード）養成講習会 <p>二戸警察署より講師を招き講演会を実施。 実施日：令和5年11月29日（水） 場 所：一戸町コミュニティセンター</p>	・児童及び生徒が巻き込まれる事件事故を未然に防止することができた。	B

<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○ 全校のスクールガードを集め養成講習会を行った。スクールガード同士の児童生徒の登下校時の危険な状況や危険箇所等の情報交換の機会となった。</p> <p>● 人口減少、高齢化にともないスクールガードの担い手が減少している。従来の活動ではスクールガードの負担が大きい。活動方法の見直しが必要。</p>
--

健康管理体制の見直しと推進

事業名	実施状況	実績	評価
学校健康管理事業	<p>児童生徒が心身ともに健康であるために、毎年定期健康診断を実施し、疾病異常の早期発見、早期治療に努める。また、教職員の健康管理にも努め、健康診断の結果に基づいて適切な事後措置を講ずるため、町内全学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱した。</p> <p>昨年度に引き続き、フッ化物洗口を実施する学校に対し薬剤等購入に係る経費を全額負担した。また、平成28年度から必須検診項目となった運動器検診については、引き続き内科検診及び就学時健診時に実施した。</p>	児童生徒及び教職員の各種健康診断について、適切に実施した。	B

<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○ 各種健康診断の結果に基づいた事後指導に努めるとともに、学校、保護者、学校医との連携を深めた。</p> <p>● 肥満傾向児童生徒への対応について各小中学校養護教諭と連携を図る。</p>

第5節 学校給食の充実

食育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
学校給食	<ul style="list-style-type: none"> ・1食給食単価 小学校 245 円・中学校 274 円 (児童生徒の給食費はそれぞれ 56 円を減額) ・給食日数及び食数 小学校：184 日 71,149 食 (盛岡みたけ支援学校分含む) 中学校：185 日 48,375 食 (盛岡みたけ支援学校分含む) その他：194 日 3,707 食 	児童生徒の給食における牛乳代分(56円)を教育委員会(町)が負担し、食育に寄与した。	B

食育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
学校訪問指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問による食育の指導 ・献立表・食育だより・献立カレンダーによる食に関する情報の提供（月1回） 	学校訪問による食育指導を29回実施した。	A
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 栄養バランスの取れた食事内容となるよう工夫し、衛生管理の徹底や食物アレルギー対応給食に対応するなど、安全でおいしい給食の提供ができた。</p> <p>● 学校訪問指導について、食育センター業務との調整が必要であり、回数が制限される。</p>			

学校給食の内容改善の促進

事業名	実施状況	実績	評価
アレルギー対応	<p>教育委員会において策定した「一戸町アレルギー疾患対応指針」に基づき個別支援プランを作成し、給食対応が必要な場合には保護者面談を行ない代替食品や除去食による対応を行なった。また、安全な給食提供が困難な児童生徒については弁当対応とした。</p> <p>・対象児童生徒数：22名</p>	アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。	B
地元農産物の活用	<p>◆安全・安心な給食を提供するため、地元農畜産物を給食に使用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米：いわてっこ（町内産） ・雑穀：町内産のいなきび、ひえ、あわを使用した雑穀入り麻婆豆腐などの提供を行った。 ・野菜・果物類：サラダボウル・こずやを中心に町内産の野菜・果物を購入し使用した。 ・牛乳：奥中山高原農協乳業の牛乳を使用した。 <p>◆県産品である豚肉・鶏肉・短角牛などの肉類や、野菜類、海藻類を使用した。</p>	<p>◆取り入れた町内産食材</p> <p>米、いなきび、ひえ、あわ、きゅうり、トマト、大根、キャベツ、ぎ、しいたけ、なめこ、レタス、ピーマン、りんご、米粉、牛乳、ヨーグルト、奥中山高原牛</p>	A
給食の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・御所野縄文 WEEK2023 に合わせ、「御所野縄文給食」を実施した。（いなきびごはん、山菜ときのこのすまし汁、鮭のえごま味噌焼き、ひじきの炒め煮、栗とさつまいものタルト） 	7/19 725食を提供。	B

成果と課題（○：成果、●：課題）	
○ アレルギー対応について、アレルギー疾患の状態と管理における共通理解が図られ、アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。また、給食の活用においては、学校給食を通して、縄文時代の食生活を学ぶ機会を提供することができた。	
● 地元農産物の活用において、献立にあわせた野菜の納入時期の確保、冬場の供給確保が課題。	

第6節 教育に関わる経済的負担の軽減、就学援助・通学対策等の充実

総合的な通学対策の推進

事業名	実施状況	実績	評価
遠距離通学費補助	(スクールバス以外で) 路線バスまたは徒歩等により通学している児童生徒に対して通学費(定期券等)を支給している。 通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況等により支給対象とし補助を行った。	【対象者】 ・小学校：38名 ・中学校：46名 【支給額】 ・小学校 3,646,745円 ・中学校 3,870,960円	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況により支給対象とし補助を行った。			
● 今後、人口減少に伴う学校の統廃合が進んだ場合、定期路線バス等の公共交通機関が運行していない地区から通学となる可能性がある。			

小・中学校の適正配置と就学区域の弾力化の推進

事業名	実施状況	実績	評価
学区外、区域外就学の許可	・転居により就学校が変更する場合や特別支援学級への就学を希望する場合など、保護者の申請により要綱に基づき学区外就学を認めている。 ・区域外就学も保護者の申請により年度途中の転出入や通学距離を考慮し、該当市町村と協議のうえ認めている。	・学区外就学 新規申請3件 継続：5件 ・区域外就学 新規申請1件 継続：2件	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 児童生徒の教育環境や通学に配慮し、対応した。			
● 制度や手続き方法について周知する。			

その他で担当している業務分

事業名	実施状況	実績	評価
要保護、準要保護児童生徒就学援助費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行った。 ・ 学校を通じ、家庭の収入状況が減少した場合も随時申請を受付し、切れ目の無い支援を行った。 ・ 年度途中の認定についても切れ目無く支給費目について支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 要保護：1名 準要保護：50名 支給総額 3,235,877円 ・ 中学校 要保護：3名 準要保護：23名 支給総額 3,523,218円 	B
教科書無償給与	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各小中学校へ教科書の無償給与を行った。 ・ 一般図書や拡大教科書等の給与は需要がないために行われなかった。 	<p>【給与総数 (転学用含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 3,887冊 ・ 中学校 2,273冊 	B
部活動指導員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的に部活動の在り方についての議論が進む中、学校教育活動の一層の充実と教員の「働き方改革」の実現を図ることを目的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一戸中学校 剣道部1名 バレーボール1名 ・ 奥中山中学校 陸上1名 特設スキー部3名 (うち1名は陸上からの継続) 	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 無償給与される小中学校の教科書について、遺漏なく事務を進めることができた。 ○ 中学校2校に部活動指導員を配置し、教職員の負担軽減を図ることができた。 ● 文化部の指導員の人員確保。 			

第7節 教職員の資質の向上

教員研修の充実

事業名	実施状況	実績	評価
学級経営研修会	<p>学級担任及び管理職を対象に、望ましい人間関係づくりを促進する学級経営の在り方について研修を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象：小中学校学級担任と希望者 期日：①令和5年8月2日（水）担任向け ②令和5年12月27日（水）管理職向け 会場：一戸町立一戸南小学校 内容：講義・演習（事例検討） 講義「Q-Uを用いた学級経営事例検討（K-13法）の実際」 	<p>各学校から</p> <ul style="list-style-type: none"> ①担任7名 ②管理職7名 	B
校長管外視察研修	<p>管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、学校経営の向上に資する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象：教育委員会事務局 期日：令和5年11月14日（火）～15日（水） 視察先：宮城県岩沼市立岩沼北中学校 研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ①ICTを活用した学習指導の在り方について ②ICTを活用した校務の改善について 	<p>計画したが各校の事情等により一戸町教育委員会の2名で実施</p>	B
副校長管外視察研修	<p>管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、指導力の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象：町内小・中学校副校長 期日：令和5年11月2日（木） 視察先：宮城県石巻市立大川小学校（旧跡地） キボッチャ（東松島市） 研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ①学校の危機管理について ②防災教育と経営理念等について 	<p>町内各校から7名参加</p>	B
教務主任研修会	<p>町内小中学校の教務主任を対象に、研究協議等を通じて教務主任の在り方や教育課程の進行管理等について研修を深め、指導力の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 期日：令和6年2月27日（火） 会場：一戸地区センター 	<p>例年どおり開催した。</p>	B

教員研修の充実

事業名	実施状況	実績	評価
小中合同研修会	<p>小学校・中学校の連携を強化し、児童生徒の健全育成や学力向上に関する研究・研修を行い、教育水準の向上を図る。</p> <p>・実施区域：一戸中学校区・奥中山中学校区</p>	例年通り開催した。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 学級経営研修会は会津大学文化研究センター教授の荻間澤勇人氏からQ-Uを活用した事例検討等の講義を頂き、今後の学級経営の充実にすることができた。</p> <p>○ 校長並びに副校長管外視察研修を実施し、管外の教育事情を把握することができた。その他の研修は予定どおり実施することができ、各学校の諸課題や情報交換を通じて所期の研修目的が達成できた。</p>			

生きる力を育む教育の研究と実践

事業名	実施状況	実績	評価
総合的学習事業	<p>「総合的な学習の時間」において、児童生徒に「生きる力」を培うために、町内小中学校独自の研究を推進し、望ましい支援のあり方や資料等の整備充実を図り、一戸町の教育水準の向上に資する。</p> <p>・対象校：小中学校全校</p>	全小中学校が実施した。	B
いちのへ御所野縄文学事業	<p>御所野縄文文化について探究的に学ぶ教育実践の充実</p> <p>を図ることを通して、主体的・対話的・探究的に学ぶ力を育むとともに、地域を愛し、「ふるさと」である一戸を誇りに思う児童生徒の育成に資する。（全小中学校対象）</p> <p>・いちのへ御所野縄文学事業推進委員会の開催</p> <p>①令和5年6月29日 世界遺産出前授業見学</p> <p>②令和5年7月27日 転入教職員対象</p> <p>③令和6年2月2日 実践交流会..各校による発表等</p> <p>・世界遺産学習連絡協議会への加盟</p> <p>趣旨:世界遺産や地域の文化遺産、自然環境などESD（持続可能な開発のための教育）に関する優れた実践活動の交流を通して、それぞれの地域の取組を発信し合い、互いに学び合うことで生まれ育った地域に誇りを持ち、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養う。</p>	<p>・全小中学校が実施した。</p> <p>・各校において特色ある取組を実施した。</p>	B

<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○ 総合的な学習では、各学校や地域の特色を踏まえた学校独自の課題を設定し、計画的に調査研究を進めることができた。</p> <p>○ 第1回目のいちのへ御所野縄文学事業推進委員会では、一戸中学校にて、世界遺産で前授業を参観し、県内の世界遺産について、学ぶことができた。</p>
--

学校の実態を生かした教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
研究指定校等研究事業	<p>町内の小中学校の研究指定校並びに研究実践校等の研究や実践の推進を図り、教育水準の向上に資する。</p> <p>◆学校公開研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥海小学校（令和5年10月25日） 研究主題：自らかかわり学びゆく 子どもが育つ授業 －「目的意識」を大切にした算数科指導を通して－ （一戸町教育委員会・二戸地区教育推進協議会指定） <p>◆特色ある学校づくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一戸小学校 地域に学ぶことで、本校の教育目標に掲げる「知・徳・体のバランスのとれた人間育成」の実現を図る。 ・一戸南小学校 「自ら考え、共に高め合う子どもの育成」 ・鳥海小学校 「自らかかわり学びゆく子どもが育つ授業～「目的意識」を大切にした算数科指導を通して～」 ・小鳥谷小学校 「自ら考え、進んで考えを表現する児童の育成」 ・奥中山小学校 「主体的・対話的で深い学びをする子どもの育成」 －言葉の力を身に付け、自分の考えを表現する学習活動を通して－ －言葉を使って、自分の思いを表現する自立活動を通して－ 	<p>県北地区の学校関係者等約100名の参加により開催した。</p> <p>全小中学校が実施した。</p>	B

事業名	実施状況	実績	評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・一戸中学校 「学び合いの中で自分の考えを表現できる生徒の育成」 ～生徒の主体性を重視した学習活動を通して～ ・奥中山中学校 「情報活用能力を育成するため、様々な学習場面でのICTの効果的な活用のあり方を研究する」 		
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 鳥海小学校の学校公開研究会では、算数の学習における複式指導での支援を工夫し、ICTの効果的に活用しながら、児童の資質・能力の育成を図るための具体的な実践について発信することができた。</p> <p>○ 特色ある学校づくりの推進に係る研究事業については、各学校の特色を活かした教育活動を実施できた。</p>			

第8節 いじめ、不登校等への対応の充実

不登校・非行・いじめなどの問題の未然防止、解消

事業名	実施状況	実績	評価
一戸町いじめ問題対策連絡協議会	<p>一戸町いじめ防止基本方針のもと、一戸町内の小学校・中学校、関係諸機関等との連携を図り、いじめ問題の未然防止や早期発見・早期対応をめざした取組の充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議：令和5年5月2日（火） ・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・岩手県総合福祉相談センター福祉司・盛岡地方法務局二戸支局・一戸町健康子ども課長・一戸町主任児童委員・県北教育事務所指導主事・在学青少年指導員・一戸高等学校長・一戸町校長会代表2名 ・会場：一戸地区センター 	1回開催	B

不登校・非行・いじめなどの問題の未然防止、解消

事業名	実施状況	実績	評価
<p>学校警察連絡協議会</p>	<p>児童生徒の健全育成のため、一戸町内の小・中学校 高等学校が生徒指導について、相互に綿密な連携を図 るとともに、関係諸機関等と連携を密にし、生徒指導 の充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議：①令和5年7月6日（木） ②令和5年12月1日（金） ・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・ 小鳥谷駐在所長・中山駐在所長・各少年補 導員・各小中学校長・一戸高等学校長・各 校生徒指導主事又は担当者 ・会場：①一戸地区センター、②一戸地区センター ・内容：岩手県警察スクールサポーター佐々木浩実 氏と二戸警察署生活安全課長による講話 と情報交換 <p>※毎回、学校警察連絡協議会に合わせて、生徒指導 連絡協議会を開催している。</p>	<p>2回開催</p>	<p>B</p>
<p>学級生活満足度 調査（Q-U）</p>	<p>児童生徒の学級生活に対する満足感について実態 を調査し、集団の中であたたかな人間関係づくりに役 立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査学年：全校小学校4学年以上 ・調査回数：年2回（5月・11月） <p>※実施期日は各学校の裁量による</p>	<p>各校2回実施</p>	<p>B</p>
<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p>			
<p>○ 一戸町の学校におけるいじめや児童生徒の問題行動の実態を関係機関と共有・情報交換により今後の生徒指導に資することができた。</p> <p>○ Q-Uの調査により学級経営の指標とすることができた。また、夏季・冬季休業中にQ-Uを分析する教職員による研修会を開催して活用を図った。</p>			

その他

学校の管理運営

事業名	実施状況	実績	評価
町立学校職員の任免・分限処分及び懲戒処分並びに服務等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教委の指導により、適切に処理している。 ・ 綱紀保持については、これまで機をみて指導を行ってきたところであるが、軽微ながら交通事故（単独自損）が発生したことから、あらためて啓蒙に努める。 	逮捕事案 1 件	B
町立学校職員の給与・勤務時間・勤務条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教委の指導により、適切に処理する。 	適切に処理した。	B
奨学及び育英	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 町育英会事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 償還対象者へ納付書の送付を行った。償還金について郵便による督促等の取り組みを行っている。 ◆ 田村清蔵奨学基金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用者の決定を行った。 ・ 信託利益が上がらず、基金を取崩し給付している状況である。 	【新規採用者】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校 0 名 ・ 各種学校 0 名 ・ 大学 1 名 【新規対象者】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学 1 名 	B
学校事務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校事務を共同で行う事により、適正且つ効率的な学校事務の管理体制の確立が図られてきた。 ・ 学校事務の共同実施組織と教委事務局との意見交換の場を設け、事務処理の改善に努めた。 	適正に進めることができた。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ● 田村清蔵奨学基金は、基金を取り崩しているため、あと数年で枯渇してしまう。 ※ R7 以降、基金の残高は 4 年制大学進学者 4 名分 			

健康意識の高揚に関わる組織強化と機能化

事業名	実施状況	実績	評価
一戸町学校保健会報の発行	町内小中学校教職員及び保護者、保育施設等の職員及び保護者、医療関係者等へ年 2 回発行した。	年 2 回の発行を行った。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 学校保健思想の普及及び啓発が図られた。			

社会教育事業実施状況

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ 町民セミナー	【共通課程】 期日及び内容 ①「文字を整えて書こうとすることの意義 ～小学生が学ぶ文字を中心として～」 一戸町地域おこし協力隊 上野光久 氏 6月17日 一戸地区センター（開講式）	受講生 ① 62名 対面 37名 オンライン 25名	B
	②「起こりうる防災への備えと持続可能な開発目標」 一般社団法人D.P.I 澤村隆太 氏 8月9日 一戸地区センター	② 21名	
	③『『いちのへ』の農業』 一戸町農業担い手育成指導部長 高橋寿一 氏 農林課職員 9月8日 一戸夢ファーム	③ 25名	
	④「笑顔を運ぶ『食』講座」 クッキングサロン「ケトル」代表 フードコーディネーター 新井尚美 氏 11月28日 一戸地区センター	④ 30名	
	⑤「異彩を、放て。」 株式会社ヘラルボニー 矢野智美 氏（元アナウンサー） 1月20日 一戸町コミュニティセンター	⑤ 69名	
	⑥特別講座「大人の社会科見学」 奥中山高原農協乳業(株)と促成アスパラガス・タラの芽 のハウス見学 2月22日 町内	⑥ 30名	
	⑦特別講座「相続まるわかりセミナー」 盛岡地方法務局 二戸支局長 小山敏政 氏 3月6日 一戸地区センター	⑦ 38名	
	⑧シニア向けスマホ教室 講師 コネクシオ株式会社 9/26、10/3、10、17、24、31、11/7、28、 12/5、12、19、26（計12回） 一戸・小鳥谷・奥中山地区センター、 総合保健福祉センター（4会場）	⑧ 延べ62名	
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 一部の講座で試験的にオンライン配信を行った。町民セミナーに初めて参加する人や若年層の参加もあり、昨年度課題として挙げた参加者の高齢化、固定化対策の一つとして有効であることが分かった。			

成果と課題 (○:成果、●:課題)
<p>○ 当初予定したセミナーに加え、特別講座2回、シニア向けスマホ教室を12回開催した。特別講座では、普段の暮らしでは滅多に見ることがない施設見学や、時事テーマを題材とした講座を開催し、参加者から好評を得ることができた。また、国の事業を活用し、スマートフォンの基本的な使い方や便利な使い方を学ぶ講座を1回当たりの参加者を最大8人とし、一人一人への指導が行き届くよう工夫し開催した。</p> <p>● セミナーの内容によっては、オンライン配信がふさわしくないもの（ワークショップや体験など）もあり、引き続き、参加者の高齢化、固定化を解消するための工夫を考えるとともに多彩なテーマを取り入れ、より多くの住民が興味関心を持って学習できる環境づくりが必要である。</p>

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 社会教育関係団体の育成	期日 年間 内容 団体活動補助金の交付 対象 ①一戸町子ども会育成連絡協議会 (25団体、542名) ②一戸町地域婦人団体協議会(6団体、63名) ③一戸町PTA連絡協議会(7校、569名) ④一戸町文化協会(24団体、166名) ⑤一戸ユネスコ協会 (団体会員34団体、個人会員96名)	—	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 関係機関に補助金を交付することにより、各団体の活動の活性化が図られた。			

第3章 青少年の健全育成

第1節 指導者の発掘・養成

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 子ども会・育成会上級生研修会等	1回目 期日 7月1日 御所野縄文博物館 内容 体験活動(見学、土笛づくり体験など) 2回目 期日 2月4日 コミュニティセンター(予定) 内容 かべ新聞発表、講演会	1回目 小学生 11名 保護者 8名 高校生 5名 2回目 小学生 10名 保護者 6名 高校生 2名	B

第1節 指導者の発掘・養成

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 岩手県ジュニアリーダー研修会	期日 ①研修会 5月27～28日 国立青少年交流の家 ②研修会 6月24～25日 国立青少年交流の家 ③研修会 7月23日 アイーナ ④保育体験活動 8月5～8日 国立青少年交流の家 ⑤研修会 12月17日 やはぱーく ⑥研修会 2月24日 やはぱーく 内容 ①～③ レク、バルーン研修、ワークショップ等 ④ 福祉ボランティア活動等 ⑤・⑥ 話合い ⑦第49回東北地区ジュニアリーダー大会（福島大会） 期日 7月29～31日 国立磐梯青少年交流の家 内容 屋外活動（ナイトハイク、猪苗代ウオーク等）	①高校生 3名 担当者 1名 ②高校生 6名 担当者 1名 ③高校生 4名 担当者 1名 ④高校生 2名 担当者 1名 ⑤高校生 2名 ⑥高校生 3名 ⑦高校生 2名 担当者 1名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 子ども会・育成会上級生研修会では、本年度も高校生ボランティアの協力を得ながら開催し、世代を越えた子ども同士、保護者同士の交流の場を創出することができた。</p> <p>○ ジュニアリーダー研修会に参加する生徒が増加した。昨年度同様、年度初めに高校に出向いて直接生徒に呼び掛けを行ったが、本年度はスライドを使って活動をイメージしやすくしたことが成果につながったと考えている。</p> <p>● ジュニアリーダー研修会に参加した生徒らが活躍する場が、現状では子ども会イベントが中心となっている。他部署や他団体の主催イベントでも高校生の力を発揮できるよう、コーディネートが必要。</p>			

第2節 子ども行事の活性化

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 放課後子ども教室事業 (学校・家庭・地域連携協力 推進事業：国庫補助)	期日 4月～3月 場所 ①旧一戸幼稚園（週5日） ②旧鳥越小学校（週5日、長期休み） ③鳥海地区センター（週5日、長期休み） ④小鳥谷地区センター（週3日程度） ⑤奥中山小学校（週5日） 内容 平日放課後の居場所として子ども教室を開催	登録者数 ① 19名 ② 7名 ③ 15名 ④ 11名 ⑤ 45名	B
6. 少年団体育成指導委員会会議	期日 ①5月10日 一戸地区センター ②3月25日 一戸地区センター 内容 町子連行事への指導助言及び運営協力	①委員 2名 ②委員 2名	B
7. いわて希望塾（県）	内容 本県出身で現在社会の第一線で活躍する方々との対話や集団行動に取り組むことで青少年の人間力を総合的に養うもの。	※令和5年度は、県北教育事務所管内対象外	—

事業名	実施状況	参加人数	評価
8. 町子連イベント (子ども会ドッジボール大会等)	①ニュースポーツ交流会 期日 7月29日 一戸地区センター体育館 ②缶けり逃走中ごっこ 期日 10月22日 総合運動公園 ③ドッジボール大会 期日 11月23日 一戸地区センター体育館	①小学生 4名 保護者 4名 高校生 2名 ②小学生 69名 保護者 22名 高校生 1名 ③8チーム参加 小学生 82名 保護者 32名 高校生 3名	B
9. 新年かきぞめ大会	期日 1月5日 コミュニティセンター	小学生 ～ 一般 46名	B
10. 管内子どもの読書活動推進連絡会議(県)	期日 5月24日 久慈市山形村文化交流センター 内容 子どもの読書活動を推進するための体制や事業について、共通理解と情報交換を行う。	担当者 1名 図書館職員 1名	B
11. 管内読書ボランティア等研修会(県)	期日 9月8日 二戸地区合同庁舎 内容 子どもの読書活動を推進するため、関係機関やボランティア団体との情報交換、研修を行う。	ボランティア 3名 図書館職員 1名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
<p>○ 放課後子ども教室では、本年度も地域住民の協力をいただきながら、放課後の安全な居場所を確保することができた。</p> <p>● 町子連組織の見直しが急務。運営には、保護者や教職員から会議の出席やイベントの対応に時間を割いてもらっている。世帯数の減少やほとんどの世帯が共働き世帯であるという現状から、保護者への負担が増加。教職員については勤務時間外での対応となることから、働き方改革の推進に影響を及ぼしている。保護者、教職員の負担を減らすことで、家庭で子どもとふれあう時間の増加や教職員が学校での指導に専念できるなどのメリットがある。子どもたちの楽しみや経験の場が失われないように、子ども行事の運営について見直しを進めたい。</p>			

第3節 健全な社会環境づくりの推進

家庭教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
12. 管内子育て支援ネットワーク研修会(県)	期日 10月21日 二戸地区合同庁舎 内容 家庭教育支援のあり方、子育てサポーター活用の協議、情報交換等を行う。	3名	B
13. 家庭教育学級 (小・中学校)	期日 年間 町内小中学校 対象 児童生徒、親等 内容 ①一戸小学校 (4講座) ②一戸南小学校 (2講座) ③鳥海小学校 (5講座) ④小鳥谷小学校 (5講座) ⑤奥中山小学校 (5講座) ⑥一戸中学校 (6講座) ⑦奥中山中学校 (5講座)	①一戸小学校 521名 ②一戸南小学校 147名 ③鳥海小学校 100名 ④小鳥谷小学校 176名 ⑤奥中山小学校 318名 ⑥一戸中学校 645名 ⑦奥中山中学校 85名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
14. 家庭教育学級 (幼児)	①親子で学ぶ！こども航空教室 期日 9月23日 一戸地区センター ②親子で学ぶ！クリスマスケーキづくり 期日 12月23日 一戸地区センター ③親子で学ぶ！バレンタインチョコづくり 期日 2月11日 一戸地区センター	①幼児 2名 小学生 9名 保護者 8名 ②幼児 2名 小学生 6名 中学生 1名 保護者 6名 ③幼児 6名 小学生 1名 保護者 7名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 幼児を対象とした家庭教育支援について、企業や住民から協力を得ながら、本年度は3回開催することができた。 ● より多くの親子の参加を得られるよう、講座の内容や実施時期の検討が必要。			

教育振興運動の推進

事業名	実施内容	参加人数	評価
15. 教育振興事務局長 会議	期日 5月10日 一戸地区センター 内容 令和5年度教育振興推進計画と実践内容、家庭教育学級について	事務局等 7名	B
16. 地域学校協働活 動・教育振興運動推 進研修会(県)	期日 6月7日(水) オンライン開催 内容 全県共通課題の解決に向けた協議・情報交換等	職員 2名	B
17. 教育振興運動推進 委員会総会	期日 6月27日 一戸地区センター 内容 令和4年度報告及び令和5年度計画案等 研修会同時開催(講師:県北教育事務)	委員等 35名	B
18. 地域とともにある 学校づくり推進フ ォーラム(県)	期日 6月28日 二戸市シビックセンターほか 内容 地域と学校の連携・協働やコミュニティ・スクールについて	職員 3名	B
19. 教育振興実践記録 集の発行	各学校(実践区、地区協議会)で取り組む活動を1冊にまとめた記録集を発行。家庭教育学級の取り組みも収録。(年1回、年度末発行)	80部	B
20. 地域学校協働本部 事業 (学校・家庭・地域連携 協力推進事業:国庫補 助)	期間 4月～3月 目的 地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図るとともに、多様な形態の教員支援を行い、子どもと向き合う時間の拡充を図る。 内容 地域住民による学習支援、図書ボランティア、スクールガード、その他各種学校支援	導入校: 一戸南小 鳥海小 奥中山小 奥中山中 小鳥谷小 一戸小(R5～) 一戸中(R5～)	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
21. 地域学校協働活動のための推進委員養成研修会（県）	<p>内容 地域学校協働本部事業に携わる地域コーディネーター、教職員等を対象とした資質向上、連携促進及び事業推進に向けての情報交換等。</p> <p>①地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座 期日 10月4日 二戸地区合同庁舎</p> <p>②地域学校協働活動推進員（コーディネーター）等研修会 期日 10月31日 県立生涯学習推進センター</p>	<p>①地域コーディネーター 3名 教職員 1名 職員 1名</p> <p>②地域コーディネーター 1名</p>	B
<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○ 地域学校協働本部事業は、本年度新たに一戸小学校、一戸中学校が導入した。これにより町内全ての学校で、地域・家庭と連携した活動が展開されている。</p> <p>● 地域の特色を生かした活動が展開されるよう、地域と学校のつなぎ役となるコーディネーターの資質向上を図る必要がある。</p>			

○その他

推進体制の充実

事業名	実施内容	参加人数	評価
22. 生涯学習推進本部 ①推進本部会議 ②推進本部幹事会議	生涯学習に関する各課等相互の連絡調整。	随時	B
23. 生涯学習推進協議会	生涯学習に関する必要な事項を協議し、町民の自主的、主体的な生涯学習を推進。	随時	B
24. 二戸地区社会教育担当者会議	<p>期日 ①5月26日 久慈地区合同庁舎 ②8月25日 県北青少年の家 ③11月22日 久慈地区合同庁舎 ④2月16日 二戸地区合同庁舎</p>	<p>① 1名 ② 2名 ③ 1名 ④ 1名</p>	B
25. 管内生涯学習・文化行政主管課長会議	期日 4月26日 二戸地区合同庁舎	2名	B
26. 二戸地区社会教育部会別会議（共）	<p>期日 5月20日 二戸地区合同庁舎</p> <p>内容 図書館、文化財、公民館の3部会ごとに分かれて開催。</p>	7名	B
27. 社会教育委員会	<p>① 期日 5月31日 一戸地区センター 内容 令和4年度社会教育関係事業実施状況について 令和5年度 " 計画等について</p> <p>② 期日 12月15日 一戸地区センター 内容 令和5年度社会教育関係事業実施状況について 令和6年度の重点施策について</p>	<p>①委員 9名 ②委員 11名</p>	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
28. 二戸地区社会教育連絡協議会総会・学習会	期日 6月19日 二戸地区合同庁舎	委員 6名	B
29. 二戸地区社会教育委員等研修会	第69回岩手県公民館大会・令和5年度岩手県社会教育委員研究大会（岩手地区大会）への参加 期日 7月14日 ビッグループ滝沢 内容 社会教育功労表彰（久保実孝委員、大久保仁前委員） SDGsに関する講演（岩手大学准教授） 事例発表（岩手町、葛巻町）	委員 6名 被表彰者 1名 職員 1名	B
30. 二戸地区社会教育委員等研修会	期日 11月13日～14日 遠野市、陸前高田市 内容 こども本の森遠野、遠野市民センター、東日本大震災津波伝承館、県立野外活動センターでの視察研修。	職員 2名	B
31. 生涯学習指導員の設置	指導員による助言や町広報紙、ホームページを活用し、生涯学習の普及、啓蒙と情報を発信。	2名	B
32. 広報活動		通年（町広報紙、ホームページ）	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 関係機関との連絡調整及び情報交換を図ることができた。 ● 新たに運用が開始された町の公式LINEを活用し、町民への情報発信に努める。			

生涯学習の普及推奨

事業名	実施内容	参加人数	評価
33. 生涯学習カレンダーの作成	期日 年1回（4月） 内容 町内生涯学習関係行事等	配布 町内全戸配布	B
34. 学習相談事業の実施	学習内容への助言、講師等の紹介	年間 随時	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 生涯学習活動のきっかけづくりとなった。 ○ 年間行事を周知することにより、各団体等の事業計画の参考となった。			

スポーツ振興事業実施状況

第4章 スポーツの推進

第1節 スポーツ団体の育成及び指導者の確保

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

○指導者養成

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 岩手県スポーツ推進委員協議会総会	期日 5月24日 ・令和4年度事業報告、決算について ・令和5年度事業計画、予算について	スポーツ推進委員 1名 担当者 1名	B
2. 岩手県スポーツ推進委員研修会	期日 7月7日～8日（花巻市）	スポーツ推進委員 4名 担当者 2名	B
3. 東北地区スポーツ推進委員研修会	期日 7月7日～8日（花巻市）	スポーツ推進委員 4名 担当者 2名	B
4. 全国スポーツ推進委員研究協議会	期日 11月16日～17日（青森県）	スポーツ推進委員 2名 担当者 2名	B
5. 二戸地区生涯スポーツ研修会兼スポーツ交流会	期日 3月2日（九戸村）	スポーツ推進委員 2名	B
6. 岩手県スポーツ推進委員初任者研修会	期日 6月24日（釜石市）	スポーツ推進委員 0名	—
7. 一戸町スポーツ推進委員研修会	期日 3月2日（九戸村）	スポーツ推進委員 2名	B
8. 一戸町スポーツ推進委員障がい者交流会	期日 第1回 7月29日（一戸町体育館） 第2回 11月11日（一戸町体育館）	スポーツ推進委員 3名 4名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 5年度は研修会等が通常開催となったため、指導者を派遣しスキルアップを図ることができた。</p> <p>○ 障がい者交流会に取り組み2年目となり、推進委員のパラスポーツへの関心が高まっていると感じる。今後は、町民の参加も促し、障がい者スポーツの普及に努めたい。</p>			

○奨励活動

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. スポーツ賞表彰式	期日 3月8日（コミュニティセンター）	表彰者 個人 44名 団体 11団体	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 優秀な成績を収めた個人・団体を表彰することで、スポーツへの参加に対する機運の醸成や競技力向上が図られた。</p>			

○団体育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. スポーツ団体の育成	年間（体育協会、スポ少、種目別協会）	体育協会 20 団体 スポ少 9 団体	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 5年度より大会参加補助を拡充し、選手の育成のみならず、子育て世代の負担軽減も図ることができた。 ● 少子化により団体加入者が減る傾向にあるので、各団体と協力し団体加入者が増えるようにする。			

第2節 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

○体力づくり関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
11. 第13回一戸町長杯 なぎなた競技会	期日 6月3日（一戸町武道場）	小、中 男女 36名	B
12. 第39回一戸町総合 スポーツ大会（ゲート ボール競技）	期日 7月17日（奥中山高原開拓記念公苑）	4チーム24名	B
13. 第39回一戸町総合 スポーツ大会（ソフト ボール競技）	期日 6月11日（奥中山小学校校庭）	3チーム40名	B
14. 第39回一戸町総合 スポーツ大会（軟式野 球競技）	期日 6月11日（運動公園野球場）	【中止】	D
15. 未就学児運動能力測 定会	期日 6月29日（奥中山小学校） 6月30日（一戸町体育館）	町内保育園児 27名 67名	B
16. 第66回町民体育大 会	期日 8月20日 奥中山 9月 平 糠 9月17日 鳥 海 10月 小鳥谷 10月 西法寺 10月 姉 帯	300名 【中止】 240名 【中止】 【R5から廃止】 【中止】	C
17. 第50回東北総合体 育大会なぎなた競技	期日 8月19日～20日	高校・成年・監督 49名	B
18. 第48回一戸町民ロ ードレース大会 第48回一戸町駅伝競 走	期日 9月30日（陸上競技場）	小、中、一般男女 ロードレース 246名 駅伝競走 69名	B
19. 第33回ゲートゴルフ大会 第17回グランドゴル フ交流会	期日 10月9日（総合運動公園）	小中一般男女 43名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
20. 第13回一戸町秋季なぎなた大会	期日 10月7日(一戸町武道場)	小、中、高 男女 43名	B
21. オクトーバーラン&ウォーク 2023	期日 10月1日～31日	町民 ウォーキングの部 38名 ランニングの部 ※今年度より参加システム変更により計測なし	B
22. 第2回一戸町ゲートボール大会	期日 11月23日(屋内ゲートボール場)	一般男女 8チーム 46名	B
23. 第39回一戸町総合スポーツ大会(バレーボール競技)	期日 12月3日(一戸中学校)	48名	B
24. 第39回一戸町総合スポーツ大会(ビーチバレーボール競技)	期日 12月3日(一戸小学校)	25名	B
25. 第39回一戸町総合スポーツ大会(卓球競技)	期日 12月17日(一戸町体育館)	【中止】	D
26. 無料スキー教室	期日 1月7日(奥中山高原スキー場)	小、中、一般男女 アルペン 21名 クロカン 4名	B
27. 町民スポ・レク学級	期日 1年間(町内希望団体)	幼児、小中一般 男女延べ97回 1,783名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
● 総合スポーツ大会及び町民体育大会の参加者が年々減少している。事業の見直しが必要であるとする。			

○地区スポーツ振興会等事業

事業名	実施内容	参加人数	評価
28. [奥中山] ★奥中山地区総合体育大会 ソフトボール ゲートボール モルック 卓球 ★登山 ★グラウンドゴルフ交流会 ★ゴルフ交流会	◎奥中山高原クラブ 奥中山小体育館他 ・7月12日 青年、一般男 ・7月12日 60才以上男女 ・7月12日 一般男女 ・11月12日 一般男女 ・10月15日 小、中、高、一般男女 ・10月22日 一般男女 ・10月29日 一般男女	70人 70人 40人 40人 10人 20人 25人	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
29. [小鳥谷] ★ニュースポーツ体験会 ★ビーチバレーボール大会	◎小鳥谷地区スポーツ振興会 ・7月2日 小鳥谷公民館 小、中、高、一般男女 ・2月25日 小鳥谷公民館 一般男女	14名 80名	B
30. [鳥海] ★小学生ペタンク ★鳥海地区ペタンクリーグ戦 ★ポッチャ教室	◎鳥海地区スポーツ振興会 ・7月24日 小学生男女 ・7月～8月 一般男女 ・時期未定 一般男女	12名 延べ116名 【中止】	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 内容を見直すなど工夫して開催することができた。今後も町民のニーズに応えられるような内容を企画し、参加者の確保に努めたい。			

○体育施設の開放

事業名	実施内容	参加人数	評価
31. スポーツの場開放	期日 4月～3月 一戸小・一戸中・奥中山小・鳥海小・旧鳥越小・ 旧小鳥谷中・旧宇別小	1,052回 延べ12,943名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 地域住民や各種団体が活動する場を確保できた。 ● 設備の老朽化が課題となっている。			

第3節 スポーツ交流の促進

○各種大会の開催と協力

事業名	実施内容	参加人数	評価
32. 早起き野球リーグ	期日 6月～8月（5チーム）	【中止】	D
33. 第75回岩手民体育大会	期日 6月～8月（県内市町村）夏季 1月（県内市町村）冬季	一般男女 6種目 50人 1種目 9人	B
34. 一戸町長杯ペタンク大会	期日 月 日（総合運動公園）	【中止】	D
35. 第51回町民登山	期日 7月23日（秋田駒ヶ岳）	一般男女25名	B
36. 会長杯ターゲットハートゴルフ大会	期日 11月5日（ターゲットハートゴルフ場）	一般男女45名	B
37. 北岩手南青森中学校体育大会	期日 月 日（総合運動公園他）	【中止】	D
38. 第51回北岩手南青森親善バレーボール大会	期日 10月22日（一戸町体育館）	高校・一般 15チーム 174名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
39. 第8回一戸町長杯 グラウンド・ゴルフ 大会	期日 9月28日（総合運動公園）	一般男女102名	B
40. 2024 FISCHER CUPク ロスカントリースキー奥中山高 原大会兼第64回一 戸町小中学校スキー 大会	期日 1月27日（奥中山高原スキー場）	小、中、高、一般 118名	B
41. 2024 ROSSIGNOL CUP 奥中山高原スキー大 会兼第64回一戸町小 中学校スキー大会	期日 1月27日（奥中山高原スキー場）	小、中、高、一般 69名	B
42. 第17回奥中山高原ク ロスカントリースキー大会	期日 2月18日（摺糠地区特設コース）	小、中、高、一般 【中止】	D
43. 第7回一戸町希望郷 ペタンク大会	期日 9月 日（総合運動公園）	【中止】	D
44. 各種スポーツ大会派 遣事業	随時	小中高一般男女	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 関係団体への補助を行うことにより、団体の意欲向上が図られ町内で各種大会が開催された。 ○ 5年度より各種スポーツ大会派遣事業の対象を拡充し、選手の育成のみならず、参加者の経済的負担軽減も図ることができた。			

○その他（推進体制）

事業名	実施内容	参加人数	評価
45. 学校開放管理指導員 会議	期日 4月15日（総合運動公園） ・令和4年度反省及び5年度事業計画について	書面開催	B
46. 市町村生涯スポーツ 担当者会議	今年度は開催なし		—
47. 一戸町スポーツ推進 委員会会議	期日 ①5月16日（一戸地区センター） ・令和5年度事業計画について ②3月15日（一戸地区センター） ・令和5年度事業報告について	スポーツ推進委員 17名 スポーツ推進委員 11名	B
48. 二戸地区スポーツ推 進委員協議会総会	期日 5月19日 ・令和4年度事業報告、決算について ・令和5年度事業計画、予算について	スポーツ推進委員 14名	B
49. 体育協会、スポーツ 少年団各種大会監督 者会議等諸会議	期日 5月29日（一戸地区センター） ・一戸町体育協会令和5年度定期総会 期日 6月30日（クラブハウス会議室） ・一戸町スポーツ少年団令和5年度定期総会	体協会員 49名 スポ少会員 11名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 関係者間の連絡調整及び情報交換を図ることができた。			

地区センター事業実施状況

【一戸地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

成人教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	<p>【一戸コース】</p> <p>期日及び内容</p> <p>① 7月21日 「フレイル予防講座」 明治安田生命盛岡支社 チーフコンシェルジュ 長内 明子 氏</p> <p>② 8月29日 現地研修：「オリジナルソルトづくり」 行き先：野田村 国民宿舎えぼし荘 株式会社のだむら 国民宿舎えぼし荘 佐々木 陵太 氏</p> <p>③ 9月25日 「悪質商法とその対処法とは？～身近な消費者トラブル～」 二戸消費生活センター 下斗米 淳子 氏</p> <p>④ 10月27日 「古着リメイク講座」 岩手県環境アドバイザー 小赤澤 直子 氏</p> <p>⑤ 12月5日 「小寺シェフの料理教室」 地域おこし協力隊 小寺 氏</p>	<p>受講生</p> <p>① 33名</p> <p>② 21名</p> <p>③ 23名</p> <p>④ 23名</p> <p>⑤ 12名</p>	A
2. 各種教室の開催	<p>① いちのへ魅力再発見町民ツアー 一戸地区まちぶら歩き～昭和以前の地図と見比べながら～ 期日 11月12日 一戸駅～小井田の千本桂 内容 町内の魅力を再発見してもらうためのツアー</p> <p>② ちょこっと運動教室 期日 2月13日～3月26日 毎週火曜日 全7回 内容 軽めの運動をして身体をほぐす機会を作るための教室</p>	<p>① 8名</p> <p>② 116名 (延べ)</p>	A
3. 一戸町成人式 ～20歳のつどい～	<p>期日 8月15日 内容 式典と記念行事</p>	<p>成人者 51名 ※対象 95名</p>	B
4. テニス教室	<p>期日 8月31日～毎週水曜日 計5回 内容 硬式テニス教室</p>	<p>8名</p>	B

成果と課題 (○:成果、●:課題)

- 町民セミナーでは、健康をテーマにしたものや近年増加している消費者トラブルなど、地域住民のニーズ合った内容を企画することができた。また、現地研修は申込みが多くキャンセル待ちになったことから、体験講座のニーズが高いことが分かった。
- 昨年に引き続き参加者の固定化が課題である。休日にも講座を企画することで、平日に参加できない層にも学習の機会を提供していきたい。
- 親子対象の講座を実施し、親子で体験活動に参加できる環境を作ることができた。
- テニス教室は昨年の反省を生かし町内学校に周知をしたが参加はなかった。テニス協会からも声かけをしてもらい参加者は微増した。また、広報を見て参加した方も数人いたので広報や町HPを活用しながら進めていきたい。

高齢者教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 高齢者教室	期日 ①3月12日(火) 奥中山地区センター ②3月13日(水) 一戸地区センター 内容 スマホ教室～発展編～	①4名 ②17名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 高齢者を対象にスマホ教室を実施できた。 ● 発展編というテーマで実施したが、実際参加した方々からは初歩的な質問が多かったため、今後は初級編を繰り返し実施していきたい。			

その他

事業名	実施状況	参加人数	評価
6. 旧正月を祝う会	期日 2月4日 一戸町コミュニティセンター 内容 中国文化圏の方々にとって、旧正月を盛大に祝う習慣のあることから、町内在住の外国人の方々と一緒にお祝いをし、交流を図る。 ※国際交流協会主催、一戸地区センター共催	60名	A
7. 一戸地区新年交賀会	期日 1月5日 一戸町コミュニティセンター 内容 地区民参加のもと親睦交流を図る。	51名	B
8. 一戸町文化祭	期日 11月3日～5日 内容 各種作品展示、舞台発表	展示部門 24団体 1,011点 舞台部門 15団体 22演目	A
9. 施設内への作品展示	期日 通年 内容 各種作品展示	—	B
10. 広報活動	期日 随時 内容 町広報紙・ホームページを活用した事業の周知。 地区センターだよりの発行。	—	A
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 文化祭は、食堂やお茶会を除きコロナ前のように実施できた。コロナが明けたことも相まって、展示部門、舞台部門ともに参加団体が増えた。 ○ 一戸地区センターだよりの第2号を9/1に、第3号を1/12、第4号を3月27日に発行できた。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施状況	参加人数	評価
11. そよかぜ学級	期日 年間 内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対して、講師への謝礼金を援助する。	6月～2月まで 11件	C
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
● 自治公民館長会議や、町ホームページでそよかぜ学級について周知をしているが、コロナ前の利用数には至っていない。事業についての説明だけでなく、講座内容や講師の紹介も同時にやることで講座を企画する団体の負担を減らし、少しずつ利用してもらえるようにしたい。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
12. 青少年地域活動	①親子でみちのく潮風トレイル 期日 6月24日 燕島～種差海岸 内容 潮風トレイルのコースを親子で一緒に歩く ②親子で登山in名久井岳 期日 7月22日 名久井岳（青森県） 内容 名久井岳を親子で一緒に歩く	① 15名 （親子6組） ② 7名 （親子3組）	A
13. 子ども映画会	期日 4月～11月 計8回 内容 いちのへじょうもんの里こども園の園児を対象に、映画会を開催。	延べ335名	B
14. 青少年ボランティア活動	期日 4月～2月 計4回 内容 町内中・高生を対象に行事にボランティアとして参加してもらう。 ・7/1 御所野の自然と縄文文化にふれてみよう ・7/29 一戸町ニューススポーツ交流会 ・10/22 缶けり逃走中ごっこ ・11/23 一戸町子ども会ドッジボール大会 ・2/4 上級生研修会	中高生 7/1 5名 7/29 2名 10/22 7名 11/23 3名 2/4 2名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 青少年ボランティア活動では、高校生に町子連行事に参加してもらい一緒に活動することで、青年リーダーの養成を図ることができた。 ● 地区センター主催事業でも青少年が活躍できるような事業を開催していきたい。			

○その他

推進体制

事業名	実施状況	参加人数	評価
15. 自治公民館長会議	期日 5月17日 内容 そよかぜ学級、自治公民館整備事業、支援事業について説明。	17名	B
16. 地区センター定期利用社会教育関係団体代表者会議	期日 3月6日 一戸地区センター 内容 各団体の育成推進、活動方針や事業計画を協議	16名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 自治公民館長会議は参集開催し、自治公民館で活用できる事業の説明ができた。 ○ 地区センター定期利用代表者会議は、4年ぶりに開催し次年度に向けての活動方針等を説明することができた。			

【鳥海地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー 「ワクワク体験コース」	期日 7月～11月 計4回(現地研修1回) 内容 ①7月5日(水) ・「健康支援セミナー」現地研修 ・講師:予防医学協会職員 ②9月13日(水) ・「フレームアートづくり」 ・講師:來田 舞子 氏 ③10月25日(水) ・「マーブルアートづくり」 ・講師:白簾 加代子 氏 ④11月15日(水) ・「そば打ち体験」 ・講師:小友地区 東山孝一氏、東山テルミ氏、坂戸チヨ氏	① 13名 ② 14名 ③ 15名 ④ 16名 受講申込:30名 参加延数:58名	B
2. 創作活動	①陶芸教室 9月11日(月)、10月2日(月) ②パッチワーク教室 (毎月1～2回) ③ミニ門松作り教室 12月20日(水)	①延べ 32名 ② 19回 延べ196名 ③ 16名	B
3. 作品発表展示会	期日 一戸町文化祭 (11/3～11/5) 内容 各教室で制作した作品の展示。	54名 103作品	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 一戸町文化祭に各教室で制作した多数の作品を展示することができた。 ○ 町民セミナーの「そば打ち体験」は小友公民館の皆さんの協力を得て、地元の新そば粉を使って行い好評であった。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 各種スポーツ大会	期日 ①親善ゲートボール大会 7月21日(金) ②グラウンド・ゴルフ大会 9月20日(水) ③郵便局長杯ゲートボール大会 ④ボッチャ大会 11月20日(月) 内容 会員の健康づくりと交流・親睦を図る。	① 32名 ② 35名 ③ 中止 ④ 45名	C
5. 親睦旅行	期日 10月6日(金) 内容 久慈市「平庭山荘」で会員の交流・親睦を図る。	29名	B
6. 短歌・俳句	期日 3月 文集第 集発刊 内容 地区民と愛好会員に作品を募集し、1冊の文集として纏める。	休刊	D

事業名	実施内容	参加人数	評価
7. 地域奉仕活動	期日 10月11日(水)(草取り)今年度も老人クラブのみ 内容 鳥海小学校学校の中庭や校舎周辺の草取りを実施。	老人クラブ17名	B
8. 楽しく学ぼう 西川目長寿大学 校	期日 11月～2月(計4回) 場所:御所野縄文博物館他 来田保養センター 宮田温泉集会所 翔遊館 内容 ①11月8日(水) ・「いちのへ魅力再発見ツアー」 姉帯城跡→御所野縄文博物館企画展 ②12月13日(水) ・「認知症を知る」寸劇 ・講師:町福祉課地域包括センター ③1月17日(水) ・「落語を楽しもう」 ・講師:手玖手玖亭 鮎六 氏 ④2月14日(水) ・「楽しくできる毎日の体操」(いきいき健康体操) ・講師:スポーツウエルネス職員	① 17名 ② 23名 ③ 37名 ④ 24名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 昨年度から実施しているニュースポーツボッチャの人气が高く今年度は最多の45名の参加があった。 ● 短歌・俳句については、愛好会員の高齢化、減少が続いており文集の発刊が難しくなっている。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. 移動公民館及 びそよかぜ学級	期日 年間 内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対し、講師謝礼の援助。	31回 延べ375名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 習字教室	期日 毎週月曜日 鳥海地区センター 内容 子ども達の情操を育て、技術の向上を図る。(小学生7名)	延べ193名	C
11. 環境美化運動	期日 ①4月30日(日) ・早朝クリーン作戦 ②年間 ・花だんづくり 内容 地域の環境美化運動に参加し、子ども会での花壇づくりの推進。	① 150名 ② 小友地区	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
12. 青少年地域活動 (チャレンジ土曜日)	期日 8月～3月 内容 ①7月24日(月) 「ペタンク大会」 ②1月12日(金) 「サッカー教室」	① 12名 ② 9名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
● 小学生の数が急激に減少しており、団体競技のスポーツ体験が難しい状況である。今後もニュースポーツ等を取り入れ少人数でも楽しめる活動にしたい。			

その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
13. 地区センター 運営協力者会議	期日 ①5月10日(水) 内容 地区センター運営全般について、活動の計画、反省等について意見交換。	17名	B
14. 三者合同健全 育成会議	期日 7月13日(木) 内容 各地区子ども会育成会長、小・中学校長、地区センターの三者が会し、連携と理解を深める。	7名	B
15. 各種団体長会 議	期日 12月6日(水) 開催 内容 そよかぜ学級実施団体への事業説明	10名	B
16. 地区センター だよりの発行	期日 年間 一戸町の広報発刊日にあわせて月1回発刊 内容 地区センターの活動計画や実施内容等のお知らせや地域や学校の行事などを地域住民全戸に配布。	351世帯に 通算発行数 408号	B
17. ちらし等の情 報提供	期日 通年 内容 地区センター事業や各種団体での募集やチラシづくりの協力など地区センターだより以外に必要なに応じて作成し地域の方々へ情報提供する。		B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			

○その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
18. 鳥海地区スポ ーツ振興会及び 各種スポーツ大 会への支援(協 賛)	期日 年間 内容 ①地区ペタンク・リーグ戦 7月12日(水)、26日(水)、8月9日(水)23日(水) ② 鳥海地区総合スポーツ大会 ・ビーチボールバレー ・ソフトボール ③ 鳥海地区町民体育大会 9月17日(日)	①延べ116名 ②【中止】 ③ 150名	C

事業名	実施内容	参加人数	評価
19. 鳥海地区振興会及び各種団体への支援・協力	期日 年間 内容 ①地区振興会活動への支援と協力 ・早朝クリーン作戦、桜の植樹場所等の刈り払い 標語コンクール、新年交賀会、大志を抱く会 ②各種諸団体活動の活性化と支援。		B
20. 鳥海ボランティア高森会への支援・協力	期日 年間 内容 高森高原まつりへの協力、鳥海地区振興会と協力しての刈り払い、研修旅行、介護予防教室の送迎等		B
21. 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	期日 6月4日(日) 内容 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	500名	B
22. 介護予防拠点施設「翔遊館」への支援・協力	期日 年間 内容 翔遊館の利用促進と介護予防拠点施設運営協議会への協力、介護予防教室開催時の送迎等。		B
23. 鳥海地区新年交賀会	期日 令和6年1月6日(土) 正午から 内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝い相互の親睦を図る。		B
24. 大志を抱く会	期日 2月3日(土) 内容 一戸中学校の鳥海地区出身の1・2年生を対象に、将来の夢や希望を宣誓していただく立志式を開催する。また、茶話会を通じて地域とのつながりを図る。 (今年度対象生徒：1年5名、2年3名)	22名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 4年ぶりに高森高原まつりを行い、町内外からの来場者に鳥海地区の魅力をパンフレット等の配布によりPRした。			

【小鳥谷地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

成人教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	期日・内容 小鳥谷コース（小鳥谷地区センター） ①7月11日（火） 演題：「新型コロナウイルスについて」 講師：小鳥谷診療所 院長 小野寺沙織 氏 ②9月21日（木） 演題：「特殊詐欺について」 講師：小鳥谷駐在所 所長 吉田拓夢 氏 ③10月31日（火） ・現地研修：秋田県鹿角市 ・「世界遺産探訪（大湯環状列石）」 ④12月12日（火） 「陶芸絵付け体験教室」 講師：おおのキャンパス陶芸工房職員	受講生 33名 ①30名 ②27名 ③21名 ④12名 コース延べ参加人数 90名	B
2. 書道教室 （8. 書道教室と同時開催）	期日 毎週金曜日 場所 小鳥谷地区センター 内容 毛筆の課題を練習し毎月作品を提出	登録者7名 延べ受講者数 162名	B
3. ヨガ教室	期日 1月～3月 計9回（予定） 場所 小鳥谷地区センター 内容 ヨガ教室	9回 延べ 67名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ いちのへ町民セミナーは、地域内にある施設等の方を講師とすることで興味を持って参加する地区内の受講生が多かった。また、現地研修は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つになっている秋田県の遺跡への研修を企画し多くの受講生が参加された。</p> <p>○ 書道教室は小学生の児童から一般の方まで一緒に開催し、受講者の中には準師範まで昇段している方もいて書道の技術向上に努めている。</p>			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 小鳥谷はつらつあっぷ教室（共催）	期日 4月～3月（毎月第4木曜日、12～3月は毎週木曜日） 内容 介護予防を目的とした教室 （主催：一戸町地域包括支援センター）	21回 延べ 198名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 小鳥谷はつらつ！あっぷ教室は、参加者の健康増進及び介護予防に繋がっている。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
5. そよかぜ学級	○小鳥谷婦人会 期日 ①10/17, 10/22, 10/28 ②11/27, 12/4, 12/11 場所 小鳥谷地区センター姉帯分館 内容 踊りの教室 ○高屋敷町内会 期日 ③12/30, 2/11 場所 高屋敷集会場 内容 手打ちそば・うどん教室 ○頑張るお母さんの会 期日 ④3/12, 3/26 場所 小鳥谷地区センター 内容 陶芸教室	①16名 ②12名 ③21名 ④20名	C
6. 自主講座	期日・内容 ①華道教室 毎月第2・4月曜日 ②大正琴教室（琴修会） 毎月第2・4月曜日 ③小鳥谷さわやかクラブ（健康づくり） 毎月第2・4水曜日 ④駒木婦人の会（健康づくり） 毎週土曜日 ⑤こずや太極拳同好会 毎週月曜日	①延べ 24名 ②延べ 74名 ③延べ 129名 ④延べ 229名 ⑤延べ 275名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
● そよかぜ学級は、地区民が自主的に企画し参加者相互の交流が図られているが、コロナや高齢化の影響により近年開催数が少なくなっている。今後事業のPR等を行い活用団体の増に努めたい。 ○ 自主講座は自主的学習として活動しており、年間を通して活発に実施されている。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
7. 幼児映画教室	期日 5～2月（月1回） 場所 小鳥谷ふじの花こども園 内容 こども園の園児に映画鑑賞の機会を提供	延べ 児童数 160名	B
8. 書道教室 （2.書道教室と 同時開催）	期日 毎週金曜日 場所 小鳥谷地区センター 内容 毛筆を中心に課題を練習し毎月作品を提出	登録者 11名 延べ受講者数 353名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. 青少年地域活動事業	①期日 5月13日(土) 場所 遠野市「とおの物語の館、遠野駅」 内容 施設見学及びSL見学 ②期日 10月16日(月) 場所 八戸市「マルヨ水産本社工場、マリエント」 内容 工場見学、水産科学館見学	①児童 9名 ②児童 18名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 幼児映画教室を通じて、幼児期の情操教育を図ることができた。 ○ 書道教室は小学生の児童から一般の方まで一緒に開催し、書道の技術向上に努めている。 ○ 青少年地域活動事業は小学校や学童クラブ、子ども教室と連携を図りながら実施することができた。			

その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 小鳥谷地区センター運営協力者会議	期日 6月6日 場所 小鳥谷地区センター 内容 センター事業及び管理・運営全般について	10名	B
11. 地域団体、定期利用団との打ち合わせ	期日 随時 内容 地域の各種団体、定期利用団体と打ち合わせ、事業の円滑化を図る。		B
12. 地区センター事業のお知らせ	期日 通年 内容 地区センターだより「五月館」を発行し事業のお知らせや実施内容の周知を図る。	4回/年	B
13. 小鳥谷地域振興会事業への協力	①総会 期日 5月14日 場所 小鳥谷地区センター ②クリーンアップ作戦 期日 4月9日 場所 小鳥谷地区内 ③藤島のフジまつり 期日 5月28日 場所 小鳥谷小学校 ④小鳥谷まつり 期日 9月16~17日 場所 小鳥谷地区内 ⑤藤島のフジ等選定・園内清掃など 期日 5月14日・6月4日・7月3日・11月19日 場所 藤島のフジほか小鳥谷地区内	② 140名 ③ 200名 ⑤ 延べ123名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
14. 小鳥谷地区スポーツ振興会事業への協力	①役員会 期日 4月24日(月) 場所 小鳥谷地区センター ②総会 期日 5月22日(月) 場所 小鳥谷地区センター ③ニュースポーツ体験会 期日 7月2日(日) 場所 小鳥谷地区センター運動場 ④第67回小鳥谷地区町民体育大会 期日 10月8日(日) 場所 旧小鳥谷中学校グラウンド ⑤ビーチバレーボール大会 期日 2月25日(日) 場所 小鳥谷地区センター	③ 14名 ④ 【中止】 ⑤ 8チーム 45名	B
15. 各種団体への協力	期日 随時 内容 子ども教室・用水組合等への協力。		B
16. 小鳥谷地区文化祭	期日 11月11～12日(小鳥谷地区センター) 内容 ①展示部門(349点) 団体参加(書道教室、華道教室、小・中学校、こども園、学童クラブ、子ども教室、盆栽愛好会、ちぎり絵)一般参加(絵画、ちぎり絵、木工品、手芸等) ②舞台部門(9団体・93人) ③販売部門(若葉会・サラダボウルこずや) ・地域団体等による焼き鳥、焼きそば、野菜、串もち等の直売	212名	B
17. 小鳥谷地区新年交賀会	期日 1月7日(日) 場所 小鳥谷地区センター 内容 新年の集い	67名	B
18. お休み処ニコニコ駅こずや	期日 4月～3月(毎週土曜日) 場所 IGR小鳥谷駅舎内 内容 お休み処の運営	利用者 1,034人	A
19. 第3回小鳥の谷の雪あかり	期日 1月20～21日 場所 小鳥谷地域 内容 雪あかり、雪像の設置 メイン会場：IGR小鳥谷駅前・小鳥谷診療所前		B

成果と課題 (○:成果、●:課題)

- 地区センター事業のお知らせについては、今年度から地区センターだよりを発行し、事業の実施内容などを掲載し周知を図っている。
- 地域振興会事業への協力については、ふじまつりが4年ぶりの開催となったが、雨天のため出店スペースを体育館内に移し若干混雑はしたが、大きな混乱もなく盛り上がり行われた。
- スポーツ振興会事業への協力については、町民体育大会はコロナの感染状況や少子高齢化や人口減少により参加が厳しい状況とのことから中止となったが、今後チーム編成や別種目での開催等を検討していく予定。
- 小鳥谷地区文化祭は、昨年より多くの作品が出品され、舞台部門についても小鳥谷小学校やなぎなた教室が出演するなど前年より多くの演目が披露され文化祭の盛り上がり寄与した。
- 小鳥谷地区新年交賀会については、コロナウイルスの影響等により開催を見合わせていたが、今年度は4年ぶりの開催となり、参加者の交流が図られた。
- 小鳥の谷の雪あかりは、降雪が少なく雪あかりも例年ほどの数を準備できなかったが、竹灯籠を使用し実施し、甘酒等のお振る舞いも実施した。

【奥中山地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた

C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー 奥中山コース	期日 6月～9月 計5回 内容 ①6月22日（現地研修） ・「盛岡市新施設見学」 ・講師：各施設の職員 ②7月23日（奥中山地区センター） ・「笑って脳のアンチエイジング」 ・講師：福々亭ナミ子 ③8月24日（奥中山地区センター） ・「アナウンサー業を通じて感じる岩手の魅力」 ・講師：IBC岩手放送アナウンサー 長谷川拳杜氏 ④9月4日（奥中山地区センター） ・「『睡眠』と『健康』」 ・講師：明治安田生命職員 ⑤9月28日（奥中山地区センター） ・「手軽に健康づくり」 ・講師：高橋 広輔氏	① 25人 ② 35人 ③ 32人 ④ 18人 ⑤ 21人 受講申込者：45人 受講延人数：131人	A
2. いちのへ魅力再発見町民ツアー	期日 11月2日 内容 大志田ダムと御所野縄文博物館の企画展「2023年！いちのへをたどる歴史の旅」を見学するツアーを実施した。	11人	A
成果と課題（○：成果、●：課題） ○ 町民セミナーは、受講者に興味を持ってもらえるテーマの選定に努めている。本年度も感染対策に引き続き注意しながら、全5回を予定どおり開催することができた。 ○ 受講者の固定化、減少傾向が見られるため、開催時期や内容、周知方法等を工夫して実施した。 ○ 一昨年度、昨年度に引き続き、町内の史跡・文化財を見学するツアーを実施し、地域の宝を再認識していただけた。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 親善ゲートボールリーグ戦	期日 5月～9月（開拓記念公苑） 内容 全7回のリーグ戦を行い、参加者の技術向上と親睦・交流を図った。	5チーム	A
4. ピュアクアガーデン杯ゲートボール大会	期日 11月7日（奥中山地区センター） 内容 奥中山、近隣町のチームによる親善大会を開催し、競技を通じて相互の技術向上と親睦・交流を図った。	6チーム	A
5. 西館工務店杯ゲートボール交流大会	期日 11月12日（奥中山地区センター） 内容 奥中山地区内のチームによる交流大会を開催し、競技を通じて相互の技術向上と親睦・交流を図った。	4チーム	A

事業名	実施内容	参加人数	評価
6. 奥中山郵便局長杯ゲートボール大会	期日 2月6日 (奥中山地区センター) 内容 郵便局と共催して開催。競技を通して参加者相互の親睦、交流を図った。	6チーム	A
7. オパール大学校	期日 11月～3月 内容 JA年金友の会と共催し、講話や軽体操など各回テーマを決めて開催。	【中止】	D
8. お達者サークル	期日 毎週水曜日 9時～13時 (お達者かあ～ん) 内容 高齢者及び施設利用者を対象に、軽運動、ニューススポーツなどを実施した。	48回 延べ893人	A
9. はつらつ! あっぶ教室	期日 4月～11月 毎月第4水曜日 12月～3月 毎週水曜日 13時30分～15時 (奥中山地区センター) 内容 健康運動、ストレッチ、脳トレ運動、健康教室など町地域包括支援センターが主催し地区センターなどが後援して実施した。	23回 延べ134人	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<p>○ ゲートボール大会は、地区内の企業等の協力も受けながら、多くの大会を開催できている。大会毎に参加チームを変えるなどし、奥中山地区以外のチームとの交流も図っている。</p> <p>● オパール大学校は新型コロナウイルス感染症への不安から、共催団体の判断により本年度も休止することとなった。</p> <p>○ お達者サークルは、自宅にこもりがちになりやすい高齢者の外出のきっかけや体力維持、生きがいの一助になっている。</p> <p>● はつらつ! あっぶ教室は、夏場の参加者が少ないことが課題である。</p>			

その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. ロビー展示会	①期日 4月～3月のうち随時 内容 ちぎり絵教室の作品展示 ②期日 4月21日～5月12日 ほか全7回予定 内容 中山の園つつじ 作品展 ③期日 12月5日～12月20日 内容 三愛学舎 手芸展 ④期日 1月23日～2月14日 内容 三愛学舎 卒業展	集計なし	A
11. 健康づくりの日	期日 5月～9月の毎週木曜日 (奥中山小学校校庭) 内容 毎週早朝にラジオ体操を行うことで、地域住民の健康づくりの一助となった。	21回 延べ250人	A
12. 奥中山地区文化祭	期日 10月7～8日 (奥中山地区センター) 内容 地区民の芸術文化活動の成果を発表、展示し、広く地区民に鑑賞の機会を提供した。	集計なし	A
13. 新年交賀会	期日 1月6日 (奥中山地区センター) 内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝いながら親睦と交流を深めた。	69人	A

事業名	実施内容	参加人数	評価
14. 夢あかり	期日 1月12～14日（奥中山高原駅周辺ほか） 内容 駅前通りを会場に、雪と灯りをテーマにイベントを開催。住民総参加で一つの目標に取り組み、地域の活性化を図った。	集計なし	A
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ ロビー展は、地域の福祉施設等の作品を展示する機会としても利用していただいている。</p> <p>○ 奥中山地区文化祭は、作品展示部門のほか4年ぶりに舞台発表部門も実施した。展示部門には、地区の住民を始め教育・保育機関、福祉施設などからも多くの作品を出展していただいた。舞台発表では、地区内の団体等の日頃の活動・練習の成果を発表していただいた。</p> <p>○ 夢あかり事業は、駅前や通りなどへの雪あかり点灯や花火など、前年と同様の規模で開催し、参加者に奥中山の冬を楽しんでいただいた。</p>			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
15. 定期教室	期日 通年 内容 ①袋物教室（月1回） ②ちぎり絵教室（月1～2回） ③大正琴（月2回）	① 8回 延べ 60人 ② 9回 延べ 60人 ③ 16回 延べ 32人	B
16. そよかぜ学級	期日 通年 内容 概ね10人以上の参加が見込める教室や講座などを開催する場合、町が講師への謝礼金を支給する。	16回 延べ 129人	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>● 定期教室は、会員の高齢化などにより今後の活動の低下も懸念される。</p> <p>○ そよかぜ学級は、地区民が自主的に教室を企画し、開催をとおして技術の向上や伝承、参加者相互の交流が図られている。</p>			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
17. 幼児映画教室	期日 4月～2月 毎月1回 内容 奥中山みどりの森こども園に出張し、園児のための映画会を実施している。	延べ 8回 258人	A
18. 青少年地域活動	○小学生の各種体験支援 期日 7月31日（奥中山地区センター） 内容 なぎなた体験・ニュースポーツ体験	小学生28人	A
19. ドッジボール交流大会	期日 11月23日 町民文化センター 内容 奥中山地区から4チームが参加。	低学年2チーム 高学年1チーム	A

事業名	実施内容	参加人数	評価
20. 地区子連雪あそび	期日 1月10日 奥中山高原駅前 内容 灯ろうの点灯など夢あかり事業に参加する形で実施。	55人	A
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ 青少年地域活動では、夏休み期間を利用し小学生に様々な体験の機会を提供している。</p> <p>○ 地区子連雪遊びは、例年夢あかり事業に参加する形で実施しており、地域のイベントへの参加を通して世代間の交流や郷土愛の醸成を図っている。</p>			

○その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
21. 地区センター運営協力者会議	期日 6月2日 奥中山地区センター 内容 地域内の各関係団体の代表者に集まっていただき、地区センターの活動などについて協議した。	17人	A
22. 地域団体、地区センター利用団体等代表者会議	期日 不定期 内容 地域の各種団体や地区センター利用団体の代表者会議を開催し、公民館活動の推進等について連絡調整し、事業の円滑化を図る。	開催なし	D
23. 地区センターだよりの発行	期日 年4回 内容 「高原の風だより」を発行し、地区センターの活動や地域に関する情報発信を行った。	—	A
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ 会議のほか、日頃から各関係団体との連絡を密にし、活動状況の把握や協力体制の構築に努めている。</p> <p>○ 地区センターだよりは、令和4年10月から刊行し、奥中山地区センターの事業内容のほか地域の団体や話題などを掲載している。</p>			

文化芸術・コミュニティセンター関係事業実施状況

第6章 歴史文化の継承と創造

第5節 文化・芸術活動団体の育成及び指導者の確保

自主事業

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 各種展示会	1 絵画教室作品展 6/14～6/25		B
	2 乗上弘油彩展 御所野と縄文様 10/18～10/29		
	3 顔彩画の会作品展 12/3～12/23		
	4 新年かきぞめ大会金賞作品展示会 1/5～1/14	-	
	5 一戸高校美術部・書道部合同展 1/18～1/28		
	6 明治安田生命「大人の塗り絵」展 2/7～2/18		
	7 一戸町文化協会写真部会作品展 3/6～3/24		
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
● 各種団体等と連携を図りながら、利用者の増加に結びつけられるような展示を継続実施する。			

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 利用促進事業	<p>⑧童謡・唱歌を楽しむ会 期日 4月～11月に6回開催 内容 童謡・唱歌を通じて音楽に親しむ会を開催し、参加者同士の交流を図る。毎回参加者の希望をとりながら、ピアノ伴奏に合わせて約2時間童謡、唱歌を楽しんでいる。</p>	⑧延べ 126名	B
	<p>⑨縄文の里音楽会 期日 11月3日(金) 内容 一戸小学校金管バンド(映像出演)、一戸中学校吹奏楽部、一戸高校吹奏楽部、猿楽による音楽会。</p>	⑨142名 (出演者含む)	
	<p>⑩岩手芸術祭 1. 巡回美術展 期日 11月14日(火)～11月16日(木) 内容 岩手芸術祭美術展の入賞作品の巡回展示</p> <p>2. 移動舞台公演 期日 12月16日(土) 内容 岩手県民謡協会から唄、尺八、三味線、踊りの出演による民謡公演。有料開催。</p>	⑩ 1. 140名 2. 94名	
	<p>⑪アートボード企画 ロビーの一部壁面を利用し、地域参加を施行した。季節感や年中行事等を演出する企画を実施。 ・3・4月 桜のメッセージポスト&お花見フォトスポット(3/23～4/16) ・5月 こいのぼりアート(4/22～5/7)</p>	⑪来館者	

成果と課題 (○:成果、●:課題)

- 「ミニおばけやしき」は高校生ボランティアからの協力を得て開催した。会場に使った道具を一戸高校の文化祭に貸出し、地域のイベントにも貢献することができた。
- 初めて一戸高校向け訪問コンサートを実施。アンケート結果から「間近でプロの生演奏を聴くのは初めて」「もっと聴いていたかった」「感動した」といった感想が目立った。小・中学校に加え、高校生を対象とした訪問コンサートも企画し、芸術に親しむ環境づくりの一助としていきたい。
- 定期イベントでは安定した集客率となっており、「わわわのステージ」については新規出演者、来場者ともに増加傾向となっている。特に定期イベントでは参加者同士に繋がりが生まれ、交流の場としても定着している。
- 萬代館を会場にしたイベントでは、文化財としての価値を知ってもらったり、建物の雰囲気と合わせてコンサートを楽しんでもらえた。
- 集客が少ないイベントについては周知期間が短く、宣伝内容・方法に課題が残った。出演者との交渉を早めに開始するなど、全体スケジュールを計画的に進めていきたい。
- イベント開催において、ボランティアや外部団体の協力が必要となる状況があった。地域のイベント等へも足を運び協力関係を作っていきたい。

○その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. ICTスキルアップ研修 ～オンライン配信を活用した研修会の企画・運営～	期日 令和5年5月18日(木) 会場 岩手県立生涯学習推進センター 内容 ICTスキルアップ研修講座 オンライン配信を含めた研修会の企画から運営までの進め方について学ぶ。	1名	B
2. ICTスキルアップ研修 ～オンライン配信のための著作権講座～	期日 令和5年6月9日(金) 内容 オンライン研修 オンライン配信の著作権の取扱いについて学ぶ。	2名	B
3. インボイス制度セミナー	期日 令和5年7月6日(木) 内容 オンライン研修 インボイス制度の概要、申請手続、対応方法について電子帳簿保存法とあわせて学ぶ。	1名	B
4. 簿記・経理講習会	期日 令和5年7月13日(木)～14日(金) 令和5年7月26日(水)～28日(金) 会場 御所野縄文博物館 内容 簿記と経理の基本知識を習得する。	2名	B
5. 市民劇運営の制作ワークショップ	期日 令和6年1月8日(月) 会場 二戸中央コミュニティセンター 内容 市民参画事業を例題に、事業の流れに沿った制作事務の仕事を理解する。	2名	B
6. 令和5年度岩手県「アートマネジメント研修」(第1回)	期日 令和6年1月25日(木) 会場 トーサイクラシックホール岩手 内容 「どうすれば文化施設がまちを輝かせる拠点になれるか?」を考える。	1名	B
7. NPO運営基盤強化セミナー	期日 令和6年1月25日(木) 会場 オンライン受講 内容 NPO法人の適正運営のために必要なガバナンスについて学ぶ。	1名	B
8. 岩手県内公立文化施設協議会業務管理・技術合同研修会	期日 令和6年2月22日(木) 会場 盛岡市市民文化会館 ホール 内容 「舞台技術の共通基礎」から劇場・ホールを運営管理するうえでのポイントをテーマとした講演。舞台上での安全講習会。	1名	B
9. 県北広域振興圏文化芸術活動支援ネットワーク会議	期日 令和6年2月22日(木) 会場 二戸地区合同庁舎 大会議室 内容 二戸地域の文化事業関係者による活動状況と今後の施策等について協議。	1名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 事業所向け労働に関するセミナー	期日 令和6年2月28日(水) 会場 二戸シビックセンター 内容 「年収の壁」への対応や同一労働同一賃金についてのセミナー。	1名	B
11. 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会	期日 令和6年3月12日(火) 会場 オンライン受講 内容 舞台芸術における障害サービス事例の紹介。舞台技術者による鑑賞サービスについての鼎談。	2名	B
12. 令和5年度岩手県「アートマネジメント」研修 アート・カルチャートと地域活性化～まちや人の「B面」を活かそう・つながろう	期日 令和6年3月14日(水) 会場 岩手県公会堂 内容 アート施行による即実践型事業から生まれる関係人口の創出、地域活性化へ向けた新しい可能性を探る研修会。	1名	B
13. NPOのための登記を学ぶ勉強会	期日 令和6年3月19日(水) 会場 オンライン受講 内容 多様なケースの登録変更手続きについて、関連法令を交えながら学ぶ研修会。	2名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月のICTスキルアップ講座では、オンライン配信のための必要な機材とソフトウェアの使用法や限られた予算での機材選定など実例をもとに有益な情報を得ることができた。 ○ 5月のICTスキルアップ講座では、公衆送信権や楽曲利用時に必要な申請について学んだ。 ○ 会計処理について「インボイス対応」「電子帳簿保存法」の大きな法改正に対応できるよう、講座で学んだことを活かし問題点の精査をすることができた。 ○ 簿記・経理講習会では簿記の基礎を学んだ。理解できていない部分がどこなのかを知ることができた。 ○ 制作ワークショップは、公演事業を主催する我々の業務にも通用する内容であった。また事業運営の観点においても、市民劇の複雑な組織体制と明確な役割分担のモデルは大変参考になった。 ● 舞台上の安全講習会では、危険が発生し得るそれぞれの要因で一定基準をクリアしていくことの積み重ねが必要だと感じた。組織全体で取り組む環境をつくらなければならない。 ● ガバナンス研修では、運営のルールがまだ整備できていないものがあることが確認できた。ただ整備するだけでなく、組織内で共通認識として浸透させる必要がある。 ● オンライン配信をまだ実施できていない。権利関係、人員確保、必要機材の予算化を進めていかななければならない。 			

一戸町立図書館事業実施状況

第1章 生涯学習社会の構築

第3節 図書館の充実資料整備関係

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 資料等の収集・保存	<p>①図書資料の収集・保存 内容 地域課題解決、また教養の向上、レクリエーション等のため、図書資料の収集と保存を図っている。</p> <p>②逐次刊行物の収集・保存 内容 時事的な情報収集のため、新聞・雑誌・フリーペーパー等の収集と保存を図っている。</p> <p>③郷土資料・行政資料の収集・保存 内容 町立図書館としての任務に欠くことのできない、町の情報収集機関として、積極的に郷土・行政資料及び地図の収集と保存を図っている。</p> <p>④視聴覚資料の収集・保存 内容 情報基地としての図書館として、地域関連資料、教養の向上、およびレクリエーション等のため、視聴覚資料の収集を図っている。</p>	-	B
2. 資料提供サービス	<p>①貸出・閲覧等の資料提供 情報提供機関として、利用者の求める資料の提供により、利用者の課題の解決や教養の向上、レクリエーション活動への支援を図った。</p> <p>②予約・リクエストサービス 利用者が要求する情報を確実に提供するため、予約・リクエストを受け、新規購入・相互貸借等により利用者に資料を提供した。</p> <p>③ 図書館間資料相互貸借サービス 図書館ネットワークを通じ、当館に所蔵しない資料について、他館より借受けて利用者に提供するほか、当館から他館への貸出も行った。</p> <p>④レファレンスサービス 利用者から各種問合せに応じ、資料の提供を通じて問題解決への協力を行った。</p> <p>⑤障がい者サービス 町民を対象に、読書活動及び図書館の利用に困難がある方への支援（個人宅配など）を行った。また大活字本等の収集・提供を行った。</p> <p>⑥出前貸出サービス「そよかぜ号ミニ」 町内 18 サービスポイントを毎月 2 日間巡回し、介護や保育施設などに本の配送を行った。</p> <p>⑦団体貸出 町内の団体利用者に（学校、施設等）に図書を貸出した。</p>	<p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">宅配利用 1名</p> <p style="text-align: center;">4月～3月 月2日巡回</p> <p style="text-align: center;">随時</p>	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. リサイクル市 (町立図書館除籍資料等リサイクル事業)	期日 6月9日(団体優先日) 6月10日~11日(団体・一般利用者) 内容 不要除籍等の資料を町内施設・団体、図書館利用登録者を対象に無償提供した。	-	A
4. 蔵書点検	期日 6月1日~6月9日 内容 資料の適正管理のため蔵書の一斉点検を行った。	-	B
5. 町内図書蔵書情報共有化事業	内容 町立図書館、地区センター図書室、御所野縄文博物館及び小中学校図書館の蔵書情報の共有化し、図書資料の有効活用を図っている。	-	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
<p>○ 蔵書点検の実施により適正な資料管理を図った。また、本のリサイクル市を開催し、除籍資料の有効活用を図ることができた。</p> <p>○ 医療、介護・福祉、教育・子育て支援等の最新資料を適宜収集することで、利用へのニーズに応えた。</p> <p>● 郷土資料の収集・整理・登録を進め、資料管理を適正に行いたい。</p>			

利用促進関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
6. 連携関係	<p>①地区センターとの連携 地区センター図書室との連携を図り、資料の入れ替えや図書室の環境整備、文化祭での資料展示等を行った。</p> <p>②読書グループとの連携 町内の読書グループと連携を図り、資料や小道具の貸与、各種研修会・補助金等の情報提供を行った。</p> <p>③学校図書館との連携 ・ 図書館環境整備(毎月1回) 掲示物、展示、システム指導、図書ボランティア講習等を行った。 ・ 職場体験・施設見学・調べ学習受入</p> <p>④町役場との連携 広報編集委員を委嘱された。</p>	-	A
7. 出前図書館	町内外の教育施設等に出向き各種事業を行った。 ①読み聞かせ 1件 ②ブックトーク 6件	-	B
8. パソコンコーナー開放サービス、Free Wi-Fi	内容 情報収集ツールとしてのインターネットや、職業訓練等での練習としてパソコンの開放している。また一戸町 Free Wi-Fi の設置により、利用の便を図った。	-	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. 図書館広報	<p>内容 各種媒体を通じた広報活動で利用促進を図った。</p> <p>①一戸町広報誌「いちのへ」 ②図書館広報紙「ぶっくんレター」 ③新聞各社、カシオペア連邦イベント情報への情報提供 ④ホームページ、SNS ⑤コミュニティセンターロビーディスプレイ ⑥ラジオ出演（カシオペアFM）</p>	-	B
10. ブックスタート事業	<p>①ブックスタート 期日 毎月第1水曜日 総合保健福祉センター 内容 幼児期から親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、4カ月健診時に職員が出向き、絵本2冊を贈りその場で読み聞かせを行う。感染対策のため4カ月健診が病院受診に変更となり、来館受渡（もしくは郵送）を実施。</p> <p>②ブックスタートプラス 期日 隔月第1水曜日 総合保健福祉センター 内容 ブックスタートのフォロー事業として、親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、3歳児健診時に図書館職員が出向き、絵本1冊を贈った。また、ブックスタート事業のアンケートをとり、事業効果を検討した。</p>	<p>① 30組</p> <p>② 39組</p>	B
11. 第45回一戸町読書に関する作文コンクール	<p>期日 募 集 8月1日～9月15日 表彰式 令和5年12月8日</p> <p>内容 読書を通じての体験作文及び感想文を広く募集し、入賞作品文集『そよかぜ』を発行。読書活動の推進を図った。</p>	<p>応募点数 55点 入選点数 26点</p>	B
12. りぶしるPOPコンテスト【地域コンテスト】	<p>期日 募 集 8月1日～9月15日</p> <p>内容 POP作品を募集し読書活動の推進を図った。入選者は全国コンテストへ推薦する。</p>	<p>応募点数 70点 入選点数 26点</p>	B
13. 地域おこし事業	<p>①お仕事体験 in 図書館 POLICE～警察官のおしごと～ 期日 5月28日 一戸町コミュニティセンター 内容 一戸交番所長・佐々木節氏を講師に、講話と警察官の仕事（指紋や足跡の採取など）を体験した。</p> <p>②地域おこし事業感謝祭 9（さんきゅう）周年 期日 7月29日 一戸町コミュニティセンター 内容 これまでの地域おこし事業にお招きした講師の方々の体験ブースや販売を行った。また、青空おはなし会を初開催した。</p>	<p>① 50名 （付添含15名）</p> <p>② 158名 （出展者29名）</p>	A

事業名	実施内容	参加人数	評価
14. サイエンス講座	<p>①第18回親子 de サイエンス図書館 ～空には何があるのかな?～ 期日 7月22日 一戸町コミュニティセンター 内容 観光天文台台長を講師に星座の講話をきき、星座のペーパークラフトを作成した。</p> <p>②わくわく♪サイエンス図書館 期日 12月23日 一戸町コミュニティセンター 内容 幼少期から科学分野への興味関心を持ち観察し調べる力・考える力を養うことを目的に、幼児向けの実験や工作を行った。</p>	<p>① 20名 (付添含 15名)</p> <p>② 15名</p>	B
15. 第5回子ども司書講座	<p>期日 8月3日 一戸町コミュニティセンター 内容 小学3～6年生を対象に、読書活動のリーダーとして活躍できる児童の育成を図った。また今年度はいちのへじょうもんの里こども園で読み聞かせも行った。</p>	5名	B
16. 夏休み自由研究応援隊!	<p>期日 7/20～8/31 随時受付 図書館内 内容 夏休み期間中に、自由研究の支援(調べ方、まとめ方等)を行った。また「図書館で調べる学習コンクール」入賞作品の複製展示を行った。</p>	-	B
17. 映画会	<p>①としょかん映画会 一戸町コミュニティセンター ○期日 毎月第2土曜日 ○内容 幼児から小学生向けの映画会を行った。</p> <p>②くらやみシアター 一戸町コミュニティセンター ○期日 8月19日 ○内容 夏休みに「こわいはなし」をテーマに、絵本等の読み聞かせと、映画会を行った。</p> <p>③冬休み特別☆としょかん映画会 ○期日 12月23日 ○内容 冬休みに小学生向け映画会を実施した。</p> <p>④春休みおはなしシアター ○期日 3月23日 ○内容 春休みに、幼児から小学生向けの映画とおはなし会を実施した。</p> <p>⑤リーヴルシネマ 一戸町コミュニティセンター ○期日 5月13日、7月8日、10月7日、1月13日 3月9日 ○内容 一般向けの映画会を行った。</p>	<p>①延べ79名</p> <p>② 39名</p> <p>③ 14名</p> <p>④ 11名</p> <p>⑤延べ92名</p>	B
18. おはなし会	<p>①とことこおはなし会 ○期日 毎月第3金曜日 地域子育て支援センターのびのび ○内容 0～3才児を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせと手遊びを実施した。</p> <p>②ぴかぴかおはなし会【感染対策により中止】 ○期日 隔月第1水曜日 総合保健福祉センター ○内容 2歳6カ月児の歯科健診時に、絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。</p>	<p>①延べ89名</p> <p>②【中止】</p>	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
19. 読書週間行事	<p>①こども図書館まつり ○期日 4月23日～5月12日 図書館内 ○内容 こどもの読書週間に合わせ、プレゼント企画（児童のみ）やおはなし会、ボードゲーム大会、資料展示を実施した。</p> <p>②読書スタンプラリー ○期日 10月1日～12月28日 図書館内 ○内容 読書に親しむことを目的にスタンプラリーを開催し、記念品をプレゼントした。</p> <p>③ぬいぐるみおとまり会 ○期日 11月11～12日 一戸町コミュニティセンター ○内容 おはなし会とぬいぐるみのおとまり会を実施予定。翌日迎えに来た児童へミニアルバムを手渡した。</p> <p>④ボードゲームであそぼう！ ○期日 2月4日 一戸町コミュニティセンター ○内容 ボードゲームの体験会を実施。</p> <p>⑤本の修理講座 ○期日 2月予定 一戸町コミュニティセンター ○内容 修理講座を行った。</p>	<p>①延べ86名 ボードゲーム8名 工作+おはなし会 9名</p> <p>② 235名</p> <p>③ 11名</p> <p>④延べ18名 体験4名 (付添含6名)</p> <p>⑤ 3名</p>	B
20. 朗読教室	<p>○期日 12月9日、3月24日 一戸町コミュニティセンター ○内容 朗読アドバイザーの杉山ひさ子さんを講師に、朗読技術や発声方法などを学んだ。</p>	<p>① 15名 ② 8名</p>	A
21. 図書館ホームページ説明会	<p>○期日 4月22日 一戸町コミュニティセンター ○内容 利用者自身のスマホやタブレットを使用した当館ホームページへのアクセス、本の延長や予約などの方法の説明会を行った。</p>	6名	B
22. 地域連携	<p>①「オレンジカフェさくら」での出前図書館（オレンジカフェさくらの会・一戸町地域包括支援センター主催） ア. オレンジカフェ in コミュニティセンター ○期日 毎月第3土曜日一戸町コミュニティセンター ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、読み聞かせや関連図書の紹介を行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げた。 イ. オレンジカフェ地域巡回型 ○期日 毎月1回 町内各地区を巡回（3・4月は調整のため実施なし） ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、読み聞かせや関連図書の紹介を行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げた。</p> <p>②「ふれあい・いきいきサロン」での出前図書館（一戸町社会福祉協議会主催） ○期日 各地区年2回 ア：檜山地区 イ：姉帯地区 ○内容 参加者へ向け、読み聞かせや脳トレ、図書紹介を行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げた。</p>	<p>① ア - イ -</p> <p>② ア延べ14名 イ延べ10名</p>	A

事業名	実施内容	参加人数	評価
22. 地域連携	③「ぬいぐるみおとまり会 in 御所野縄文博物館」 (御所野縄文博物館主催) ○期日 6月17～18日 御所野縄文博物館 ○内容 読み聞かせなどを行った。	③ 6名	A
	④「こども食堂ひなたぼっこ」での出前図書館 (オレンジカフェさくらの会、奥中山高原クラブ主催) ○期日 8月11日、12月24日 奥中山地区センター ○内容 読み聞かせを実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋がった。	④延べ100名	
	⑤「町民セミナー」での出前図書館 (一戸町教育委員会主催) ○期日 7月27日、11月28日、1月20日、 2月20日 一戸地区センター ○内容 会場内に図書展示を行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋がった。	⑤ -	
	⑥「ベジメータ測定」での配本協力 (一戸町食生活改善推進協議会主催) ○期日 10月28日 一戸町コミュニティセンター ○内容 会場に図書展示を行った。	⑥ -	
	⑦「奥中山こひつじ文庫 わくわくおはなし会」 (奥中山こひつじ文庫主催) ○期日 11月4日 一戸町コミュニティセンター ○内容 事業の後援、周知等の協力を行った。	⑦ 54名	
	⑧「いちのへの宝展」での資料展示 (一戸ユネスコ協会主催) ○期日 2月9日～12日 一戸町コミュニティセンター ○内容「金子重正展(一戸町出身漫画家、漫画本・ 絵画等展示)」、「一戸読書部会」「奥中山 こひつじ文庫」紹介展示、周知等の協力を行 った。	⑧ 245名	
	⑨「結カフェお話し会」 (結カフェ主催) ○期日 2月6日、3月19日 結カフェ ○内容 従業員を対象に読み聞かせを行った。	⑨延べ18名	
23. 各種企画展示	①Library&Community(一般書企画展示) ○期日 常設 ○内容 一般を対象に、社会問題や時事や生涯学習 に役立つテーマを設定し、資料の展示貸出 を行った。	-	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
23. 各種企画展示	<p>②おしごとサポート（一般書企画展示） ○期日 常設 ○内容 ビジネス・産業支援に関連した資料の展示・貸出及び、就職支援情報や逐次刊行物を収集、掲示した。</p> <p>③文学の森（一般書文学企画展示） ○期日 常設 ○内容 文学賞受賞作の他、テーマに沿った資料の展示・貸出を行った。</p> <p>④ティーンズ・ラボ（中高生向け企画展示） ○期日 常設 ○内容 中高生を対象に、各期間、テーマに関連した資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑤It's ニュース速報展示 ○期日 常設（毎日変更） ○内容 日々の社会問題を紹介するとともに、それに関連する資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑥HOT TOPIC 短期テーマ展示 ○期日 常設（随時） ○内容 社会問題を紹介するとともに、それに関連する資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑦ぶっくん研究室（児童書企画展示） ○期日 常設 ○内容 児童を対象に、暮らしに身近なテーマを設定し、資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑧ちいさな本だな（絵本展示） ○期日 常設 ○内容 絵本を中心に資料を展示・貸出した。</p> <p>⑨児童展示 ○期日 常設 ○内容 小学生を対象に児童文学や科学読み物を展示・貸出した。</p> <p>⑩児童季節展示 ○期日 不定期 ○内容 行事の絵本や児童文学等を展示・貸出した。</p> <p>⑪この本よんだ？（良書展示） ○期日 常設（通年） ○内容 児童向けの良書を複本で用意し、展示・貸出した。</p>	—	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
23. 各種企画展示	<p>⑫原作d e先読み（話題本展示） ○期日 常設（随時） ○内容 映画やドラマの原作本や、関連本の展示・貸出を行った。</p> <p>⑬書評展示 ○期日 常設（随時） ○内容 新聞書評欄の記事とともに、資料を展示・貸出した。</p> <p>⑭特別展示 ○期日 不定期 ○内容 利用者からの需要が見込まれる図書や県立図書館巡回展示などを貸出した。 1月4～9日は「本の福袋」を貸出した。</p> <p>⑮郷土の先人 ○期日 常設（通年） ○内容 三浦哲郎、舟越保武の資料を展示・貸出した。</p> <p>⑯御所野遺跡 ○期日 常設（通年） ○内容 御所野遺跡、北海道・北東北の縄文遺跡群に関する資料の展示・貸出及び、パンフレット等を収集し提供した。</p> <p>⑰世界遺産 ○期日 常設（通年） ○内容 世界遺産に関する本を展示・貸出した。</p> <p>⑱いわ100&いわ100きつず ○期日 常設（通年） ○内容 県教育委員会で発行したおすすめ図書リストに掲載の本を集め、展示・貸出した。</p>	—	B

○その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
24. 司書講習	○期日 7月19日～9月20日 二戸地区合同庁舎 ○内容 二戸管内の公共図書館の情報交流を行った。	1名	A
25. 二戸地区社会教育部会別会議	○期日 5月10日、2月9日 二戸地区合同庁舎 ○内容 二戸管内の公共図書館の情報交流を行った。	1名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
26. 一戸町学校司書・図書館業務担当者等研修会	○期日 6月1日 一戸南小 11月17日 全国図書館大会岩手大会研修 ○内容 学校司書と情報交換を行った。	2名	B
27. 管内子どもの読書活動推進連絡会議	○期日 5月24日 久慈市山村文化交流センター ○内容 子どもの読書活動の振興について学んだ。	1名	B
28. 図書館専門研修会等	①読書ボランティア研修 ○期日 6月6日 岩手県立生涯学習推進センター ○内容 絵本作家の講話や読み聞かせの研修 ②図書館等初任職員研修会（オンライン） ○期日 6月13、15日 ○内容 著作権やレファレンスについて研修した。 ③管内ボランティア等研修会 ○期日 9月8日 二戸地区合同庁舎 ○内容 学校図書館ボランティアについて学んだ。 ④図書館地区別（北日本）研修（オンライン） ○期日 10月18日～20日 ○内容 中堅職員のための図書館研修 ⑤認知症バリアフリー図書館研修会（オンライン） ○期日 11月6日 ○内容 認知症バリアフリーについての研修。 ⑥障害者サービス担当職員向け講座（オンライン） ○期日 11月28日～30日 ○内容 障害者サービスの基礎知識を学ぶ。 ⑦全国図書館公共図書館研究集会 児童・青少年部門 ○期日 12月14日～15日 県立長野図書館 ○内容 児童・青少年サービスの基礎知識を学ぶ。 ⑧市町村立図書館等職員専門研修 ○期日 12月12日 岩手県立図書館 ○内容 絵本の選書や読み聞かせについて学ぶ。 ⑨岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会 ○期日 年1回 ○内容 関係機関との連携協力、情報共有を図る。 ⑩岩手県図書館研究事業 ○期日 10月12日 岩手県立図書館 ○内容 関係機関との連携協力、情報共有を図る。	① 2名 ② 1名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 1名 ⑥ 1名 ⑦ 1名 ⑧ 1名 ⑨ 1名 ⑩ 1名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
29. 業務関連セミナー・研修会	<p>① ICTスキルアップ研修①、② ○期日 5月18日、6月9日のみ（オンライン） 岩手県立生涯学習推進センター ○内容 オンライン配信の企画運営を学んだ。</p> <p>②簿記研修 ○期日 7月13日～14日 御所野縄文博物館 ○内容 簿記の研修を行った。</p> <p>③ J P I Cこの本読んで！（オンライン） ○期日 10月～3月（配信） ○内容 読み聞かせや絵本の知識や技能を学んだ。</p> <p>④人づくり・地域づくり関係職員等研修講座 ○期日 11月10日 二戸地区合同庁舎 ○内容 W o r dで作る広報誌の技能を学んだ。</p> <p>⑤図書館総合展（オンライン） ○期日 11月（配信） ○内容 図書館業務に関するフォーラムを視聴した。</p> <p>⑥全国図書館大会岩手大会 ○期日 11月16日～17日 アイーナほか ○内容 図書館業務に関するフォーラムを聴講した。</p> <p>⑦一戸町サテライト事業（富士大学主催） ○期日 2月4日 一戸町コミュニティセンター ○内容 図書館運営について研修した。</p> <p>⑧レファレンス協同DB事業フォーラム（オンライン） ○期日 3月1日 ○内容 レファレンス技術について学んだ。</p> <p>⑨奥中山こひつじ文庫よみきかせワークショップ ○期日 3月20日 一戸町コミュニティセンター ○内容 読み聞かせの技術について学んだ。</p>	<p>① 1名</p> <p>② 1名</p> <p>③ 3名</p> <p>④ 1名</p> <p>⑤ 1名</p> <p>⑥ 5名</p> <p>⑦ 4名 パネラー2名</p> <p>⑧ 1名</p> <p>⑨ 2名</p>	B
30. 先進地視察研修	<p>二戸地区図書館職員等研修会 ○期日 8月23日～24日 奥州市立胆沢図書館ほか ○内容 先進地図書館研修を行った。また、二戸管内図書館職員との情報交流を図った。</p>	2名	B
31. 館内研修	<p>○期日 毎月月末整理日 ○内容 職員が講師をつとめ、図書館サービスやレファレンスなどをテーマに研修を行い、講師側・受講側ともに研鑽を図る。</p>	8名	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 職員1名が司書資格取得のため夏季講習を受講し、司書資格を取ることが出来た。
- 全国図書館大会岩手大会に参加し先進事例や図書館の最新動向にふれ、自己研鑽に繋がった。
- 実地・オンラインともに積極的に参加し研修を行った。
- 館内研修では博物館で一戸町の歴史を学び、深く知る機会となった。
- オンライン研修の時間を業務中に設定するよう努めたが、他業務との兼ね合いもあり難しい場合もあった。業務に支障のないよう計画を図りたい。

世界遺産事業実施状況

第5章 世界遺産「御所野遺跡」を守り伝えるまちづくりの推進

第1節 次代への継承

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	事業内容	参加人数等	評価
1. 縄文遺跡群世界遺産本部事業	内容 縄文遺跡群の保存・活用に関し必要な事項を実施するため、4道県14市町で構成。 ①縄文遺跡群世界遺産協議会 6/19、11/30 ②縄文遺跡群世界遺産専門家委員会 7/18、12/12 ③遺産影響評価報告 8/1 報告 ④縄文フォーラム 11/23 堺市、1/28 東京都	①1名、1名 ②1名、2名 ④欠席、1名	B
2. 景観形成支援事業	内容 バッファゾーン内建造物の屋根等の塗り替えに対する補助	交付1件	B
3. 御所野遺跡保存整備事業	期日 年間 内容 ①縄文里山づくり事業 (4/9) ②史跡整備 (園路舗装修理工事 7/24～29) ③駐車場舗装工事、トイレ自動栓交換、散水栓BOX交換工事	年間	B
4. ボランティア活動支援 (指定管理者)	内容 公園に関わるボランティア団体の活動を支援。研修会も実施 ①ボランティア連絡協議会研修会 8/21 つがる市、鹿角市 ②北東北縄文ボランティア交流会 11/26 弘前市 ②北海道ガイド交流会 12/9 洞爺湖町	年間	B
5. クリーンデー (指定管理者)	期日 ①4/22 ②11/11 内容 ボランティアや町内各団体、住民等による御所野縄文公園の清掃活動	①185名 ②186名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 御所野遺跡の保全状況や開発圧力、環境変化に関する30項目の観察指標について評価を行い、世界遺産に負の影響が無いことが確認できた。			
● 御所野遺跡関連ボランティア団体の解散があり、今後の活動の受け皿となる新たなボランティア団体の設立が急務となった。			

第2節 世界遺産としての価値の理解促進

事業名	事業内容	参加人数等	評価
6. 調査研究事業	期日 ①6/10、11 ②7/16、17 ③10/16、17 ④2月 内容 縄文時代の植物利用について、金沢大学などとの共同研究を実施 (～R6)	年間	B
7. 調査成果発表会	期日 2/25 御所野縄文博物館 内容 御所野遺跡や町内の文化財の調査研究についての成果発表	108人	A
8. ガイド養成講座 (指定管理者)	期日 3月予定 内容 御所野遺跡ガイドを行うため必要な知識やノウハウを講義	中止	D
9. ガイドアプリ活用	期日 年間 内容 御所野遺跡ガイドアプリの配布及び貸出端末による利用	タブレット貸出 69件、73台	B

事業名	事業内容	参加人数等	評価
10. ごしょの縄文プログラム (指定管理者)	内容 里山を活用した縄文のものづくり体験や町内の歴史文化を学ぶプログラムを実施 ①まるっと里山プログラム (年8回) ②てづくりプログラム (随時) ③ごしょの de まなびプログラム (年11回予定)	①60名 ②1,193名 ③34名	B
11. 御所野縄文WEEK (共)	期間・場所 10/14～10/22 御所野縄文公園ほか 内容 御所野遺跡や縄文文化の魅力を発信するため、二戸地域振興センター等と連携して実施。 ①10/14 オープニングセレモニー ②10/14 企画展「2023！いちのへをたどる歴史の旅」(～11/26) ③10/14 IBC ラジオ「縄文ウォーク」公開生放送 ④10/14、15 「ビストロわんこ」 ⑤10/14、15 「浄法寺漆×御所野縄文」ワークショップ ⑥10/14 「縄文の星空観察会～秋～」 ⑦10/15 「蔵でつくる！土器づくり体験」 ⑧10/15、17、19、22 「蔵でみる！まちづくりミュージアム」 ⑨10/17 講座「はじめての縄文」 ⑩10/19 縄文給食 ⑪10/21 「ハッピーウォーク 2023」 ⑫10/21 「縄文ヨガ」 ⑬10/21 一戸高校地域振興イベント「ごしょドキッ Festival」 ⑭10/22 縄文フォーラム「文化遺産の持続可能なマネジメント 縄文遺跡群を次代へ守り伝えるために」講師：西山徳明 ⑮10/22 エンディングセレモニー	①20名 ②576名 ③180名 ④60名 ⑤56名 ⑥10名 ⑦16名 ⑧52名 ⑨20名 ⑩765名 ⑪20名 ⑫7名 ⑬120名 ⑭40名 ⑮40名	B
12. 登録2周年記念事業	内容 世界遺産登録2周年を記念してイベントを展開した。 ①登録記念日 7/27 ②登録記念講演会 7/30 ③写真展「縄文の森の小さいいきものたち」(指定管理者) 7/21～8/20	①26名 ②30名 ③4,037名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 他の研究機関と共同で植物利用に関する研究を行うことができた。 ○ 町内外の様々な関係機関・団体と協力して御所野縄文WEEKを開催することができた。 ● 新たなイベントの開催など、家族連れや若年層が気軽に参加できる取組みが必要。			

第3節 新たな交流・産業の創出

事業名	事業内容	参加人数等	評価
13. 岩手県3つの世界遺産連携	内容 県内3つの世界遺産が連携して共同事業を実施 ①いわて世界遺産まつり 10/7、8 釜石市 ②児童交流会 11/29 一戸町 ③ガイド交流会 11/14 奥州市	①職員1名 ②16名 ③8名	B

事業名	事業内容	参加人数等	評価
14. 世界遺産連携	内容 他の世界遺産との連携事業を実施 ①世界遺産サミット in 斑鳩町 10/28、29 斑鳩町 ②イイサンノヒ世界遺産一斉清掃 11/12 (秋のクリーンデー 再掲)	①職員1名 ②(186名)	B
15. 二戸地域振興センター連携	内容 二戸地域振興センター等と協力して、八戸、鹿角地域との連携事業を実施 ①縄文周遊発掘スタンプラリー 7/27～11/30 ②ボランティア交流会 11/12 八戸市	① ②2名	B
16. 縄文フォーラム(共)(再掲)	内容 縄文遺跡群の学術的価値の浸透を図るため開催 「文化遺産の持続可能なマネジメント 縄文遺跡群を次代へ守り伝えるために」 講師 北海道大学観光学高等研究センター教授 西山徳明氏	40名	B
17. 教育旅行誘致	内容 修学旅行誘致のため、旅行会社等へ働きかけを行う (商工観光課共同)	随時	B
18. SNS情報発信事業(指定管理者)	内容 SNSを活用しリアルタイムに情報を発信	年間	B
19. 世界遺産PRキャラクター活用事業	内容 ごしょどん、ごしょたんのデザイン使用及び着ぐるみ貸出	デザイン使用22件 着ぐるみ貸出17件	B
20. その他PR	内容 各種機会を活用し御所野遺跡のPRを実施 ①新採用職員御所野遺跡説明会 5/16 ②世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」PRフェア 9/23 仙台駅 ③JOIN移住・交流&地域おこしフェア 2024 1/13、14 東京ビッグサイト	①職員18名 ②職員1名 ③職員1名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
<p>○ 岩手県内3つの世界遺産との連携の枠組みが明確になり、交流を図ることができた。</p> <p>○ 御所野縄文公園クリーンデーを他の世界遺産との共同事業とすることができた。</p> <p>● 他分野及び他業種との連携により、さらに御所野縄文公園をPRしたい。</p>			

文化財関係事業実施状況

第6章 歴史文化の継承と創造

第1節 文化財の調査・保護

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 文化財の調査	内容 町内に所在する文化財の調査	年間	B
2. 町内遺跡発掘調査事業	内容 町内遺跡の開発に伴う発掘調査	試掘調査 3件 工事立会 3件	B
3. 指定文化財等の保護	内容 指定文化財の保護 ①町内文化財パトロール ②藤島のフジ枯れ枝等除去	①随時 ②4/13～4/28	B
4. 奥州街道災害復旧工事	内容 令和4年8月の大雨被害を受けた国指定史跡7区間のうち5区間において復旧工事を行う	7/5～3/8	B
5. 神楽公開	期日 6/18 内容 国指定重要文化財「旧朴館家住宅」において町内に伝わる郷土芸能を披露する 出演 高屋敷神楽	64名	B
6. 権現様パレード	期日 8/26 内容 各芸能団体の所有する権現様を一堂に会し、一戸まつり中日の神輿渡御に参加	40名	B
7. 第49回二戸地区郷土芸能発表会(共)	期日・場所 11/19 コミュニティセンター 内容 伝統を受け継いできた二戸地区の郷土芸能を継承するため、発表の機会を設け、郷土芸能に対する理解を深める	130名	B
8. 第45回一戸町郷土芸能祭	期日・場所 11/19 コミュニティセンター 内容 郷土芸能を継承するため発表の機会を設け、地域住民に理解を深めてもらうとともに、伝承者の技術向上を図る	130名	B
9. 一戸町郷土芸能保存協議会への活動支援	期日 ①5/17、8/5、11/1 役員会 ②総会 6/10 内容 郷土芸能団体の交流・親睦を図り、各種事業を実施し、郷土芸能の活性化と後継者育成に努める	①各職員1名 ②職員2名	B
10. 無形民俗文化財保存事業	内容 各地域に伝わる無形民俗文化財を後世に継承するため、各団体に補助金を交付	交付決定7団体	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 藤島のフジや奥州街道など、指定文化財の保護を進めることができた。 ○ 4年ぶりに「旧朴館家住宅」にて実施することができた神楽公開や二戸地区郷土芸能発表会の実施など、無形民俗文化財の伝承活動を行うことができた。			

第2節 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

事業名	実施内容	参加人数等	評価
11. 旧朴館家住宅保存修理委員会	日時 ①11/17 第1回委員会 内容 文化財建造物の専門家等で組織し、旧朴館家住宅保存修理に係る方針等に関して意見を求める。	①委員8名 オブザーバー1名	B
12. 旧朴館家住宅保存修理事業	期日・内容 ①9/27 保存会視察研修(弘前市・黒石市) ②12/8 小鳥谷小見学	①15名 ②児童25名 住民・ボランティア9名	B

事業名	実施内容	参加人数等	評価
13. 朴館家住宅保存会への活動支援	日時 ①5/30 総会 ②6～3月 火燃やし 内容 住宅の保存活動を行う団体の活動を支援する	①会員8名 職員3名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 小鳥谷小5・6年生による旧朴館家住宅ガイド活動では、児童・地域住民・ボランティアと連携し、旧朴館家住宅への理解を広げる教育普及活動を実施することができた。 ● 旧朴館家住宅保存修理事業のR5年度着手を見込んでいたが、国庫補助事業採択とならず、R6年度に延期となった。			

第3節 文化財愛護の機運向上

事業名	実施内容	参加人数等	評価
14. 文化財普及活動	内容 さまざまな広報手段を活用し文化財を周知する ①広報いちのへ掲載 ②ホームページ更新	①計12回 ②随時	B
15. 地域住民との連携	内容 地域住民やボランティア団体と連携し、文化財の保護活動を行う。 ①国指定史跡奥州街道 ②国指定根反の大珪化木 ③国指定藤島のフジ ④国指定旧朴館家住宅 ⑤県指定有形文化財西方寺毘沙門堂 ⑥町指定姉帯城跡	①越田橋町内会、八幡町町内会、小性堂町内会、高屋敷町内会、関屋町内会、自然と歴史の会 ②根反地区婦人会 ③藤島のフジを守る会 ④朴館家住宅保存会、駒木町内会 ⑤西方寺町内会 ⑥姉帯地区住民	B
16. 奥州街道ウォーク等への協力	期日 ①IGR 銀河鉄道観光主催「歴史街道を歩く2023」 5/28、6/25、9/17、10/29 ②県北広域振興局土木部主催 「道の日ウォーキング」8/9 内容 各団体の実施する奥州街道ウォーク等への協力など	①計95名 ②50名	A
17. 南部「御城印」プロジェクトへの連携参加	期日・場所 7/29～販売開始 御所野縄文博物館ミュージアムショップ 内容 南部氏ゆかりの城館である姉帯城の「御城印」作成と販売を行い、史跡整備、認知度向上や地域活性化などへの貢献を目指す	累計販売枚数： 587枚	A
18. 姉帯城フィールドワーク（共）	期日・場所 9/23 コミュニティセンター・御所野縄文博物館 内容 姉帯城の歴史などの講話や出土資料見学	14名	B
19. 企画展開催	期日・場所 10/14～11/26 御所野縄文博物館 内容 御所野遺跡史跡指定30周年記念企画展 「2023年！いちのへをたどる歴史の旅」の開催	1,950名	B

事業名	実施内容	参加人数等	評価
20. いちのへ魅力再発見ツアーへの協力	期日 ①11/5 ②11/7 ③11/9 ④11/22 内容 各地区センターが実施する町内文化財の内容や魅力を知るツアーの案内などの協力	①一戸地区 16名 ②奥中山地区 17名 ③鳥海地区 20名	B
21. 民俗資料等収蔵施設（旧小鳥谷中学校）一般公開	期日・場所 11/11 旧小鳥谷中学校 内容 小鳥谷地区文化祭の開催に合わせ、民俗資料等を収蔵している旧小鳥谷中学校の一般公開	17名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 奥州街道ウォークの実施や御城印の販売により、関係機関との連携を深め、町の歴史や文化財に対する興味関心を広げ、姉帯城跡の認知度向上につなげることができた。			
● イベント等は周知を早めに行うなど、周知期間や方法を改善する。			

その他

1. 文化財行政推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
22. 文化財調査専門委員会	期日・場所 ①5/1 ②3/26 内容 町文化財指定に係る諮問および文化財の調査、保護、活用について協議	①委員 4名 ②委員 4名	B
23. 二戸地区文化財調査委員等連絡協議会（共）	期日・場所 ①6/15 理事会 二戸地区合同庁舎 ②7/11 総会 二戸地区合同庁舎 研修会 鳥越観音 内容 二戸管内の文化財調査委員の情報交換と専門的な知識・技術の取得・向上を図る	①理事・監事 各1名 職員 1名 ②監事 1名 職員 1名	B
24. 二戸地区文化財担当者会議（共）	期日・場所 11/24 御所野縄文博物館 内容 文化財行政の具体的推進について協議し、事業の効果的推進を図る	職員 2名	B
25. 岩手県史跡整備市町村協議会	期日・場所 ①6/23 総会 紫波町 ②2/19～20 研修会 大槌町 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①職員 1名 ②職員 2名	B
26. 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会	期日・場所 ①7/5 総会 宮城県松島町 ②7/6 研修会 宮城県七ヶ浜町 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①職員 1名 ②欠席	B
27. 全国史跡整備市町村協議会	期日・場所 ①10/4～6 総会・エキスカージョン 埼玉県川越市 ②11/17 臨時大会 ホテルニューオータニ 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①欠席 ②職員 1名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 岩手県史跡整備市町村協議会研修会では、文化財の保存・活用に関する将来的な方向性などを定める「文化財保存活用地域計画」策定の目的や概要を学ぶことができた。			

令和5年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書 に関する意見

一戸町PTA連合会 会長 東澤 信幸

令和5年度における教育に関する事務の管理及び執行について、ご関係者の皆様のご尽力に
対し心より感謝申し上げます。

今回は、それぞれの分野における点検及び評価について、貴重な経験、機会を頂戴いたしま
した。僭越ながら以下のとおり意見を申し上げます。

各分野においてですが、A評価及びB評価がほとんどであることから、計画どおりに物事が遂
行されており、当初の計画が達成できたものと考えます。

学校づくりに関しましては、令和5年度からは町内すべての学校に学校運営協議会が設置さ
れ、地域とともにある学校づくりの推進が図られるものと感じております。

教育環境の整備充実に関しましては、子どもたちの学習の場である校舎などの施設の改修に
ついて、長寿命化を図り計画的に整備されており、継続的にお願いしたいと考えております。
また、スクールガードの担い手が年々減少している中、事件事故を防止できていることは見守
り活動を行っていただいているスクールガードの皆さんへ感謝しているところであり、一方で、
道路への通学路の表示等により運転手への注意喚起も必要と考えてあります。

学校給食に関しましては、多くの種類の地元農産物を活用されており、年間を通しての供給
は難しい所もあると思いますが、継続していただきたいと考えております。

今後とも、PTAの活動に対し一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。